令和3年

南部町議会第3回定例会会議録

令和3年9月 7日 開会

令和3年9月17日 閉会

山梨県南部町議会

令和 3 年

南部町議会第 3 回定例会会議録

9 月 7 日

令和3年南部町議会第3回定例会（第1日目）

令和3年9月7日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸報告
- 日程第4 報告第6号 専決処分した事件の承認について（南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例）
- 日程第5 報告第7号 令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 日程第6 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 日程第7 議案第49号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第8 議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第9 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第10 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定について
- 日程第11 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第12 議案第54号 令和3年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第13 議案第55号 令和3年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第2号）
- 日程第14 議案第56号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第15 議案第57号 令和3年度南部町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第16 議案第58号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第17 議案第59号 令和3年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第18 議案第60号 令和3年度南部町富沢財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第19 議案第61号 令和3年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第20 議案第62号 工事請負契約の締結について
- 日程第21 議案第63号 工事請負契約の締結について
- 日程第22 議案第64号 工事請負契約の締結について
- 日程第23 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第24 認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

- 日程第25 認定第 3号 令和2年度南部町指定居宅サービス特別会計歳入歳出決算認定
について
- 日程第26 認定第 4号 令和2年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定につ
いて
- 日程第27 認定第 5号 令和2年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第28 認定第 6号 令和2年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定に
ついて
- 日程第29 認定第 7号 令和2年度南部町睦合財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第30 認定第 8号 令和2年度南部町富沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第31 認定第 9号 令和2年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計歳入
歳出決算認定について
- 日程第32 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入
歳出決算認定について
- 日程第33 一般質問

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	芦澤潤一郎	2番	望月憲之
3番	望月小五郎	4番	塩津悟
5番	望月郁夫	6番	木内秀樹
7番	遠藤高芳	8番	望月光彦
9番	小泉昇一	10番	仲亀佳定
11番	高橋茂広	12番	遠藤光宣

3. 欠席議員(0名)

4. 会議録署名議員

3番	望月小五郎	4番	塩津悟

5. 地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名（25名）

町長	佐野和広	教育長	入月一巳
代表監査委員	若林泰文	秘書政策監	小倉弘規
会計管理者 (兼) 出納室長	佐野彰紀	総務課長	滝基成
財政課長	市川隆	企画課長	杉山一陽
税務課長	渡辺幸博	交通防災課長	金井貴
子育て支援課長	岡村忠	福祉保健課長 (兼) 地域包括支援センター所長	佐野武人
住民課長	四條理恵	産業振興課長 (併) 農業委員会事務局長	若林安彦
建設課長	望月一臣	水道環境課長	遠藤成
デイサービスセンター所長	仲亀哲也	アルファセンター所長	青木正和
健康管理センター所長	渡辺基	学校教育課長 (兼) 学校給食共同調理場所長	渡辺雄治
生涯学習課長 (兼) 公民館長	近藤利也	アルカディア課長	尾崎龍次
福祉保健課課長補佐	望月文広	福祉保健課課長補佐	遠藤賢
税務課課長補佐	望月咲子		

6. 職務のために議場に参加した者の職氏名（1名）

議会事務局長 遠藤一明

開会 午前 9時30分

○議長（遠藤光宣君）

皆さん、おはようございます。

令和3年第3回定例会の開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

9月に入り、厳しい残暑も幾分和らぎ、日ごとに秋の気配を感じられる季節となりました。

今年の夏を振り返りますと、開催が危ぶまれた東京2020オリンピック・パラリンピックも、7月23日にオリンピックが開幕し、終わってみれば、日本勢は過去最多となる58個のメダルを獲得いたしました。8月24日にはパラリンピックが開幕、熱戦を繰り広げた大会も2週間の競技日程を無事に終え、一昨日閉幕いたしました。

一方、関東地方は例年より早く7月中旬に梅雨明けしたものの、8月中旬には北九州において停滞した梅雨前線により、8月平均の4倍の雨量を計測し、川の氾濫や土砂災害を引き起こしました。改めて異常気象による自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。

さて、3月の定例会でも現地視察をいたしました中部横断自動車道の未開通部分、南部インターチェンジから下部温泉早川インターチェンジ間の13.2キロメートルが、8月29日に開通となり、山梨から静岡間が全線開通となりました。

この全線開通に伴い、山梨・静岡、両県の移動時間が短縮され、物流や観光面での利便性が高まることが期待されています。

本町に対する経済効果や、新しい地域戦略への可能性が広がることを願っています。いまだに衰えを見せない新型コロナウイルス感染症ですが、今月12日まで発令されております緊急事態宣言は、1都1道2府17県に及び、山梨県にもまん延防止等重点措置が出されております。このような中で、64歳以下の方のワクチン接種が今月26日に完了する予定ですが、感染力の強いデルタ株は、2回接種した方への感染も報告されております。

町民の皆さまには、今一度最新の情報と正しい知識を身に付け、万全の対策を行うことが新型コロナウイルス感染症に打ち勝つために、大変重要なことだと考えます。

どうか、今しばらく日々の生活にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

議員各位におかれましては、公私ともにご多忙のところ、第3回定例会へご参集を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

本定例会には、令和2年度の南部町各会計歳入歳出決算認定が提出されており、令和2年度の予算が議決した目的に従って適正に執行されたのか、また、どのような行政成果があったのか、執行部から示されるわけであります。

審議内容は多岐にわたり、膨大なものでありますが、町民の負託に応えられますよう、活発で実りある質疑・討論をお願いいたします。

なお、本定例会もクールビズのため、上着、ネクタイの着用は自由といたしますので、ご了承ください。

それでは、本定例会の円滑なる議会運営に格段のご協力を重ねてお願い申し上げまして、開会のあいさつとさせていただきます。

ただいまから、令和3年南部町議会第3回定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、令和3年南部町議会第3回定例会は成立いたしました。

それでは、ただちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

○議長（遠藤光宣君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、3番 望月小五郎議員および4番 塩津悟議員の両名を指名いたします。

○議長（遠藤光宣君）

日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から9月24日までの18日間といたしたいと思っております。

これに、ご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から9月24日までの18日間とすることに決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

日程第3 諸報告を行います。

地方自治法第121条第1項の規定により、町長、教育委員会の教育長および監査委員に出席を求めたところ、お手元に配布のとおり、説明員の出席ならびに委任の通知がありましたのでご承知願います。

町長からお手元に配布のとおり、議案の提出がありましたので報告いたします。

次に、請願、陳情等についてであります。本日までには請願3件、要請1件を受理いたしました。皆さんのお手元に配布いたしましたとおりであります。

請願第1号 林業振興促進のための財政支援拡充を求める請願書

請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

請願第3号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願書

この3件については、会議規則第92条第1項の規定により、請願第1号は総務建設常任委員会に、請願第2号、第3号は文教厚生常任委員会に付託いたします。

なお、審査は今期定例会会期中を期限といたしたいと思っております。

これに、ご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、本付託案件は今期定例会中の審査とすることに決定いたしました。

次に、監査委員から、地方自治法第235条の2第3項の規定による、令和2年度会計の令和3年5月分、令和3年度会計の令和3年5月・6月・7月分に関する例月出納検査の結果報

告がありました。写しをお手元に配布しておきましたのでご承知願います。

次に、教育委員会から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による、「教育に関する事務の点検及び評価報告書」令和2年度分の提出がありました。お手元に配布しておきましたのでご承知願います。

以上で、諸報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

- 日程第4 報告第6号 専決処分した事件の承認について（南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例）
- 日程第5 報告第7号 令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 日程第6 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 日程第7 議案第49号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第8 議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第9 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第10 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定について
- 日程第11 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第12 議案第54号 令和3年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第13 議案第55号 令和3年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第2号）
- 日程第14 議案第56号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第15 議案第57号 令和3年度南部町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第16 議案第58号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第17 議案第59号 令和3年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第18 議案第60号 令和3年度南部町富沢財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第19 議案第61号 令和3年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第20 議案第62号 工事請負契約の締結について
- 日程第21 議案第63号 工事請負契約の締結について
- 日程第22 議案第64号 工事請負契約の締結について
- 日程第23 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第24 認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第25 認定第3号 令和2年度南部町指定居宅サービス特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第26 認定第4号 令和2年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第27 認定第5号 令和2年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第28 認定第6号 令和2年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第29 認定第7号 令和2年度南部町睦合財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第30 認定第8号 令和2年度南部町富沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について

日程第31 認定第9号 令和2年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について

日程第32 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について

以上、29件について、会議規則第37条の規定により一括議題といたします。

町長から行政報告と併せて、提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

令和3年第3回定例会開催にあたり、提出いたしました案件の説明に先立ちまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

本日、南部町議会第3回定例会を開催いたしましたところ、何かとご多忙のところ、全議員の皆さまの出席を賜り、議会が開催されますことに心から感謝申し上げます。

それでは、提出をいたしました令和2年度決算認定など、29案件の説明と6月定例議会以降の行政報告をさせていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。全国的に感染力の強いデルタ株による感染拡大が急速に進み、8月には全国の1日あたりの感染者数は連日2万人を超え、また都道府県ごとの感染者数を見ましても、連日過去最多を更新するなど、すさまじい感染状況となりました。

山梨県においても、連日のように80人以上の新規感染者数が確認され、8月の新規感染者数は2千人を超え、累計でも4,400人を超えるなど、感染拡大に歯止めがかからない状況が続き、現在も感染者数の高止まりが続いております。

政府においては、9月12日までの期間、1都1道2府17県に緊急事態宣言を拡大し、12県にまん延防止等重点措置を適用するなどの対策を講じてはおりますが、療養者数は増加し続け、全国的に医療がひっ迫している状況です。

山梨県でも宿泊療養施設の増設、療養場所を自宅に切り替える退所後ケアを運用するなど、新たな対策の追加を余儀なくされております。

本町の対策といたしましては、まん延防止等重点措置期間である9月12日までは公共施設は閉館、または利用停止し、行事、会議などは可能な限り中止、延期などの対応をしております。

町民の皆さまには、引き続きマスクの着用や手洗い、三密を避けることなど、感染予防と感染対策に努め、ご自身や大切な人の命を守るための最善の行動を取っていただくようお願いいたします。

次に、町の新型コロナウイルスワクチン接種の状況であります。南部町内の医師、看護師をはじめ、関係者のご協力をいただき、おおむね順調に接種が進められており、9月5日現在で町内全体の対象者数は7,021人で、1回目終了者数が5,876人で83.7%、2回目終了者数が3,319人で47.3%の方が終え、希望された方への接種は9月末には終了する予定であります。

さて、今年の夏は新型コロナウイルス感染症対策のため、1年延期となった東京オリンピック、パラリンピックが1964年以来、57年ぶりに開催されましたが、コロナ禍により会場が無観客になるなどの、さまざまな制限の中での大会となりました。

極めて異例な状況下での開催ではありましたが、世界各国から参加した選手による熱い戦いが繰り広げられ、日本代表選手は多くのメダルを獲得する、大変すばらしい活躍を見せてくれました。

涼しいわが家でテレビ観戦された多くの国民の皆さんが、暑い夏のひと時に歓喜したのではないかと思います。

8月29日、中部横断自動車道の唯一未開通でありました南部インターチェンジから下部温泉早川インターチェンジ間の延長13.2キロメートルの開通式が行われました。町民の悲願でありました山梨・静岡間は全線開通となりました。

平成9年の双葉ジャンクションから増穂インター間の工事着工から24年という長い年月を要しましたが、開通の喜びをともに分かちあうことができました。

この開通により、中央自動車道と新東名高速道路が中部横断自動車道で直結され、中京圏や関西方面へのアクセスの向上、また山梨県庁から静岡県庁までの所要時間は約70分短縮されることになりました。

町にとりまして、山梨、静岡両県への移動時間が短縮することはもとより、災害時における代替路の確保、緊急医療活動の迅速化、新たな企業立地の進展など、さまざまなメリットが生まれ、経済活動の活性化には大いに期待をしております。

これまでこの事業にご協力いただいた地権者の皆さまをはじめ、工事に携われたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。

そして、何よりも中部横断自動車道の1日も早い全線開通を待ち望み、政治家としてのライフワークの1つとしていた横内正明先生、小沢介三元町長、お二人とも全線開通を見届けることなく鬼籍に入られてしまいました。くしくもこの日は小沢介三元町長の92回目の生誕の日でありました。ただならぬ縁を感じながら、テープカットのはさみを握る手につい力が入ってしまいました。

きっと在天で微笑みながら、開通式の様子をご覧になっていたのではないかと思います。

それでは、6月定例会以降の行政報告をさせていただきます。

6月10日、甲府河川工事事務所濱谷所長がお見えになり、中部横断自動車道南部インターから下部温泉早川インター間の開通式の日程について、意見交換をいたしました。

6月16日に、南部町社会福祉協議会評議員会がアルファーセンターで開催され、遠藤議長とともに出席いたしました。

同日、新型コロナウイルス感染対策に関わる知事と市町村長との意見交換会がオンライン会議で行われました。

知事からは、8月から開始予定の県の大規模接種センターに派遣する医療従事者を登録する、ワクチン接種支援人材バンクを開設するにあたり、各市町村の医療従事者に余裕があれば、これに登録してほしいこと、また高齢者に次ぐ接種対象者を、基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、保育所や学校など子どもの教育に携わる職員の接種を優先するよう協力依頼を受けました。

各市町村長からは要望した量のワクチンが確実に供給されることや、県の大規模接種センターが設置されるため、接種券がなくても接種できるよう国に要望していただけるよう、意見が出されました。

私からは、若い女性の方や妊婦さんは、ワクチン接種の安全性や副作用などを大変心配され

ていることから、正しい情報を提供して下さるようお願いをいたしました。

知事からの協力依頼については、全市町村が一丸となって協力することを確認いたしました。

6月22日、南部町と日本郵便株式会社、南部町内郵便局および峡南郵便局との包括連携に関する協定の締結をいたしました。

この協定は、郵便局が持つ配達網を生かして、高齢者の見守り活動を行うほか、道路の異常を見つけた際には、町へ情報提供をして下さるものです。安心安全なまちづくりへのご支援、ご協力を深く感謝申し上げます。

6月26日、東京2020オリンピックの聖火リレーおよび出発式がアルカディア南部総合公園駐車場で行われ、甲府市出身でシドニーオリンピック競泳代表の萩原智子さんが第一走者を務め、本町からも2名の方が聖火ランナーを務められました。私も、オリンピックが成功されることをランナーの皆さまとともに願いました。

6月28日に、市町村職員共済組合を自治会館で開催いたしました。会議では、令和2年度決算など協議事項7件を承認いただきました。

6月29日、人事異動で着任された竜王年金事務所東方所長がお見えになり、着任のごあいさつをいただきました。

7月1日、社会を明るくする運動強調月間に合わせて、保護司の皆さまが町長室にお見えになり、菅内閣総理大臣と長崎知事からのメッセージ伝達式が行われました。

7月7日、静岡県牧之原市杉本市長がお見えになり、高速道路の整備により身近となった牧之原市との観光交流について意見交換を行いました。

杉本市長とは、静岡空港富士の国空のしおりオープン記念式典に出席した折、牧之原市内の観光施設をご案内いただいたことがご縁で、今回、本町へお越しいただきました。

同日、県民生活部小田切部長、井上推進監がお見えになり、男女共同参画推進センターの運営方針について意見交換をいたしました。

7月12日、中部横断自動車道建設促進連絡協議会が中富総合会館で開催され、遠藤議長、高橋副議長とともに出席いたしました。

7月19日、県防災新館において、峡南5町と山梨大学との包括連携協定締結式に出席いたしました。この協定は、大学が持つ人的資源などを有効に活用し、5町と連携することで、課題解決と地域の活性化を目指すものです。

最初の取り組みとして、緊急性の高いテーマである山間の防災力の強化を進めるために、連携協議会を設け、具体的な活動を行う予定です。

7月20日、第2回町村長会議が自治会館で開催され、出席いたしました。会議では、山梨県スポーツ振興局塩野局長がお見えになり、スポーツ成長産業化戦略についてなど、2件の施策説明に引き続き、令和2年度の会務報告、決算など協議事項5件が承認されました。

7月27日、長崎知事がお見えになり、男女共同参画推進センターのこれからの運営および拠点施設について意見交換をいたしました。また、長崎知事からは、旧富河中学校をびゅあ峡南の代替施設として活用したいとの提案があり、首長間で合意をいたしました。

7月28日、峡南広域行政組合第1回臨時会が招集され、専決処分1件と組合施設適地調査業務委託等に伴う補正予算を原案のとおり承認していただきました。

8月4日、南部町総合教育会議を開催し、南部町ふるさと教育をテーマに協議いたしました。学校教育では、平成30年に作成されたふるさとかるたを活用し、ふるさと南部の素晴らしさ

や課題を発見、体験し、より地域を理解する学習を行っていることから、今後さらにかかるたを
活用した教育を推進するよう意見をいただきました。

また、小中学校での新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みについても確認いたしました。

8月7日、緑ヶ丘スポーツ公園競技場で開催された市町村対抗一般男子ソフトボール大会決勝戦に駆けつけ、応援してまいりました。結果は、8対1で笛吹市に勝利し、見事優勝いたしました。監督をはじめ、選手の皆さんの活躍を心からたたえました。

8月10日、第14回新型コロナウイルス対策本部会議を開催いたしました。全国的に感染者が拡大し、山梨県内においても感染が拡大していることから、公共施設の休館や利用の中止、会議なども可能な限り延期や中止するよう指示いたしました。

また、職員には大人数での会食禁止など、綱紀粛正を徹底するよう、改めて指示をいたしました。

8月23日、南部分庁舎に移転された、山梨中央銀行南部支店の開店セレモニーが行われ、出席いたしました。

8月25日、南部町と明治安田生命保険総合会社との包括連携に関する協定の締結をいたしました。具体的な取り組みとして、地域の安全、安心や、健康づくりに関すること、結婚、出産、子育て支援に関すること、産業観光振興、および地域経済の支援に関することなど、地域の活性化および町民サービスの向上を図ることを目的とするものであります。

安心、安全なまちづくりへのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

8月29日、冒頭、あいさつでも申し上げましたが、中部横断自動車道南部インターから下部温泉早川インター間の開通式に遠藤議長をはじめ、議員の皆さまとともに出席いたしました。

これにより山梨から静岡間が全線開通となりました。この工事において、長きにわたり多くの皆様のご支援、ご協力をいただいたことに、心から感謝申し上げます。

以上で、行政報告を終わります。

それでは、本定例議会にご提案させていただいた議案につきまして、提案理由の説明をさせていただきます。

お手元の議案集にありますように、本定例会への提出議案は報告が2件、条例の制定が1件、改正が3件、法令に基づき議決すべき計画が1件、補正予算案9件、工事請負契約の締結が3件、決算認定議案10件、合計29件であります。

はじめに、議案集1ページ、報告第6号 専決処分いたしました南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例についてであります。デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されたことおよび、地方公共団体情報システム機構からの手数料徴収に関する通知に伴い、南部町手数料徴収条例の一部を改正する必要性が生じたことから、専決処分したものであります。

次に、報告第7号 令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率の報告であります。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、監査委員の意見書を付してご報告いたします。

議案集4ページをご覧ください。

本町においては、4指標ともに早期健全化基準以下であり、また資金不足比率につきまして

も経営健全化基準以下となっており、健全な財政状況にあることを報告いたします。

次に、議案集 6 ページ、議案第 4 8 号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定についてであります。過疎地域自立促進特別措置法が令和 3 年 3 月 3 1 日をもって失効し、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和 3 年 4 月 1 日に施行されたことに伴い、固定資産税の課税免除等についても、新たに条例を定める必要が生じたためであります。

次に、議案集 9 ページ、議案第 4 9 号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてであります。デジタル庁設置法およびデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

次に、議案集 1 1 ページ、議案第 5 0 号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてであります。個人番号カードの利用により、キオスク端末から住民票の写しを取得できるサービスを令和 3 年 1 0 月 1 日から開始することに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

次に、議案集 1 3 ページ、議案第 5 1 号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定についてであります。富沢図書館を移転することに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

次に、議案集 1 5 ページ、議案第 5 2 号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定についてあります。南部町過疎地域持続的発展計画の制定については、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第 8 条の規定に基づき、議会の議決を経る必要があるためであります。

次に、議案第 5 3 号から議案第 6 1 号までは、一般会計ほか 8 会計の補正予算であります。

はじめに、令和 3 年度南部町一般会計補正予算であります。6 月補正予算後の情勢の変化に対応するため、国庫支出金、繰入金、町債、令和 2 年度の決算剰余金などを主な財源として、緊急を要する事業に必要な措置を講じたところであります。

主な事業としては、深刻化する一方の、新型コロナウイルス感染症への対策として、ふるさと支援商品券事業予算を計上したほか、町の新たな魅力づくりであるアフターコロナ事業ともいえるアルカディア総合公園多目的広場整備事業の増額予算を計上いたしました。

その結果、歳入歳出予算はそれぞれ 2 億 7 9 0 万 2 千円を追加し、予算の総額を 5 3 億 8, 4 5 0 万 4 千円とするものであります。

次に、特別会計であります。

簡易水道事業特別会計補正予算は、繰越金を財源として西部簡易水道の配水池改修事業に 6 5 0 万円を補正するものであります。

指定居宅サービス特別会計は、施設修繕と前年度決算確定に伴う補正であります。

国民健康保険特別会計補正予算の事業勘定は、繰越金を財源とした一般会計繰出金を補正し、南部直診勘定と万沢直診勘定では繰越金を財源として、医療用機械器具費を補正いたします。

介護保険特別会計補正予算は、繰越金を主な財源といたしまして、精算に伴う返還金や給付費準備基金積立金、一般会計繰出金など 6, 1 6 1 万 1 千円を補正いたします。

後期高齢者医療特別会計補正予算は、前年度決算が確定したことに伴う補正であります。

睦合財産区および大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算は、前年度決算が確定したことに伴う補正であります。

富沢財産区特別会計補正予算は、木材売却収入を財源に、管理費および造林費を補正いたします。

以上で、補正予算の提案理由の説明を終わらせていただきます。

次に、議案集17ページから19ページ、議案第62号から議案第64号までの工事請負契約の締結についてであります。アルカディア多目的広場整備工事3工区、4工区、および5工区について、入札により契約相手の選定が整いましたことから、契約の締結について、議会の議決を求めるものであります。

続きまして、別冊の決算書、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定から、認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定であります。すでに監査委員による決算審査を受け、全ての会計で適切に処理され、正当であることの意見書を受理いたしました。

お手元にその写しを提出いたしましたので、決算審査意見書の説明につきましては省略させていただきます。

なお、監査委員からご指摘いただいた住民生活に必要なとされる施策を積極的に展開するとともに、さらなる活性化を図り、将来を見据えた施策の推進が必要であるとの貴重なご意見につきましては、真摯に受け止め、身を引き締めて町政運営にまい進する所存であります。

以上、本定例会に提案いたしますが、議案の詳細な説明につきましては会計管理者ならびに担当課長に説明させますのでよろしくご審議をいただき、議決ならびに認定を賜りますようお願い申し上げます。私からの提案理由の説明を終わらせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

町長の提案理由の説明が終わりました。

次に、担当課長の補足説明を求めます。

はじめに、日程第4 報告第6号および日程第8 議案第50号について、四條住民課長。

○住民課長（四條理恵君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第5 報告第7号および日程第11 議案第53号から日程第22 議案第64号までの補正予算ならびに工事請負契約の締結について、市川財政課長。

○財政課長（市川隆君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第6 議案第48号について、渡辺税務課長。

○税務課長（渡辺幸博君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第7 議案第49号について、滝総務課長。

○総務課長（滝基成君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第9 議案第51号について、尾崎アルカディア課長。

○アルカディア課長（尾崎龍次君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第10 議案第52号について、杉山企画課長。

○企画課長（杉山一陽君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

ここで、暫時休憩いたします。

再開は11時20分です。

休憩 午前11時04分

再開 午前11時20分

○議長（遠藤光宣君）

それでは、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

次に、日程第23 認定第1号から日程第32 認定第10号について、佐野会計管理者。

○会計管理者（兼）出納室長（佐野彰紀君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

以上で、担当課長の補足説明を終わります。

ここで、令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率ならびに各会計の歳入歳出決算および基金の運用状況について、若林泰文代表監査委員より審査結果の報告をお願いいたします。

若林泰文代表監査委員。

○代表監査委員（若林泰文君）

代表監査委員の若林でございます。

それでは、私から、去る7月28日、29日の2日間、仲亀佳定監査委員ともども実施いたしました、令和2年度決算にかかる財政健全化審査ならびに各会計の決算審査の結果について、その概要を報告いたします。

はじめに、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、審査に附されました財政健全化審査について報告いたします。お手元に配布されております、令和2年度財政健全化審査意見書をご覧ください。

町長から提出されました、健全化判断比率および資金不足比率、ならびに算定基礎となる事項を記載した210ページにわたる資料をもとに、財政課より状況を聴取し、審査した結果、これらの書類はいずれも法令等に基づき、適正に作成されているものと認められました。

南部町の健全化判断比率の状況は1ページに、資金不足比率の状況は2ページに記載されている表のとおりであります。

各健全化判断比率・資金不足比率ともに、早期健全化基準ならびに憂慮される基準を大きく下回っており、指摘する事項は特にありませんが、引き続き健全な財政運営の維持に努めていただくことを望みます。

次に、地方自治法第233条第2項および第241条第5項の規定に基づき審査に付されま

した令和2年度南部町一般会計および特別会計の歳入歳出決算ならびに基金の運用状況の審査結果について、概要を報告いたします。お手元に配布されております、令和2年度会計決算審査意見書をご覧ください。

審査の対象は、一般会計および特別会計9件の歳入歳出決算および定額の資金を運用している土地開発基金の運用状況で、関係諸帳簿、その他証書類と照合しながら審査を行いました。

また、指定管理事業の道の駅なんぶ、公共施設等総合管理事業に位置付けられている富沢図書館と、改修の進む旧富河中学校の事業実施状況および運営状況を調査するため、現地確認を行い、各担当者から概況を聴取いたしました。

その結果、各会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書ならびに基金運用状況調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数に誤りはなく、予算執行も適法・適正であると認められました。

まず、令和2年度一般会計について、決算意見書の3ページの表1です。

歳入総額が69億3,983万6千円、歳出総額は62億9,165万円でありました。繰越明許費繰越額として6,869万3千円があるので、実質収支額5億7,949万3千円が令和3年度への繰越額となりました。

歳入面においては、主たる財源である地方交付税は、5ページの表4のとおり、前年度の27億5,948万8千円に比べ、普通交付税が1億1,486万8千円増額し、特別交付税がマイナス1,384万9千円の減額、合計で1億101万9千円の増額となり、総額では28億6,050万7千円でありました。

これは、普通交付税の算定項目に新規項目である地域社会再生事業費が算入されたことと、高齢者一人当たりの単位費用が増加したものの、人口が減少したことが主な要因です。

なお、4ページの表3のとおり、歳入総額の41.2%を占め、地方交付税に大きく依存している状況は依然として変わりありません。

町税収入は、6ページの表5のとおり、町民税では、個人住民税が人口減少および高齢化率の上昇により、調定額・収入済額ともに減少しました。法人住民税にあつては、大口法人の増収益があつたものの、中部横断道建設工事完了に伴う大手建設業者の決算にともない減少となり、町民税全体では、前年度に比べて収入額がマイナス286万2千円の減収となっています。

今後、新型コロナウイルスによる所得の減少、人口減による納税義務者の減少、税率改正による国税への税源振替と中部横断道建設工事がすべて完了する令和3年ごろには、これまでの調定額よりさらに減少し、大幅な減収となることが予想されます。

課税客体の減少によるものなので、いかんともしいが、当該年度調定額の徴収に最大限の努力を図りたい。

徴収率は、昨年度より0.07ポイント増加し、県下でも上位に位置しております。高い徴収率を維持していることは、未納者や滞納者に対する催告や丁寧な納税相談による結果であることが確認でき、徴収事務の努力は、昨年度に続き大いに評価に値します。

今後も、税の公平性および公正性の観点から、慎重な対応と徴収の強化を引き続き図ることが必要です。

次に、歳出面では、7ページの表6のとおりです。減少した項目は、物件費として性質分けしていた臨時職員を会計年度任用職員として人件費に移行したことに伴い物件費が、平成18年度に火葬場建設・林道整備・消防施設など、建設費用に借り入れた合併特例債・過疎債

の償還が終了したことにより公債費が、また、大規模改修工事事業が終了したことに伴い維持補修費が、それぞれ減額となっています。

一方、増加した項目は、会計年度任用職員として物件費より人件費に移行したため人件費が、新型コロナウイルス感染症による町民に対する一律10万円給付事業により補助費が、また、新型コロナウイルス感染症に伴う事業縮小による余剰金により積立金が、および6カ月の水道料免除に伴う簡易水道特別会計への繰出が増額したことにより、繰出金がそれぞれ増加となっています。

今、改修が進められている旧富河中学校改修事業や、国土強靱化計画に沿った公共施設総合管理事業、橋梁長寿命化補修工事等の投資的事業も控えている中、引き続き行財政改革を念頭に置き、人件費、扶助費、および公債費にかかる義務的経費が高い水準で推移しないよう注視し、将来負担を考慮した歳出を図ることを望みます。

次に、特別会計の決算については、10ページ、表13-1、11ページ、表13-2のとおりです。

特別会計9会計の歳入総額は30億2,515万4千円、歳出総額は28億4,651万2千円となりました。翌年度に繰り越すべき額がないので、実質収支額は1億7,864万2千円となっています。

特別会計においても計数に誤りはなく、予算執行はそれぞれの会計の目的に沿って、適法・適正と認められました。

特別会計の詳細については、抜粋して報告させていただきます。

まず、簡易水道事業特別会計においては、前年度に比べ、歳入歳出の決算額が減額となったのは、令和2年度から国庫補助事業の対象から外れ、事業費を削減したことが主な要因であります。

歳入の水道使用料収入は、新型コロナウイルス感染症に対する施策として、全町民、企業を対象に6カ月間の使用料免除を実施したことに伴い、使用料の一部を一般会計から繰り入れたものです。この施策については、全南部町民への生活支援につながり、南部町全域を対象とした素晴らしい施策と考えられます。

しかし、この事業においては、表13-2にあるように、1億826万1千円の一般会計からの法定外繰入金に大きく依存することになり、国庫補助事業の減少など、今後の事業計画に少なからず影響を及ぼすと考えられます。

今後、企業会計として少しでも自立の方向へ向かえるよう、なお一層の努力を図りたい。

また、12ページ、表15のとおり、水道使用料の徴収率は1.56ポイント増加し、収入未済額は前年度より173万7千円減少し、令和2年度末の収入未済額の合計は879万4千円となっています。

あくまでも使用料であるため、受益者負担の適正化に努め、利用者間の公平性・公正性の確保と町民サービスの向上を目指し、今後も、未収金の発生防止とその回収に強力に取り組み、本会計の財政基盤強化を図っていくことを望みます。

次に、国民健康保険特別会計、事業勘定については、新型コロナウイルス感染症により税収の減少が心配されたところですが、コロナ禍を起因とする税の減免については、国、県の補助金と交付金が充てられ、また徴収率も高く保たれたことで、財政面での影響は特にありませんでした。前年度の国保税の賦課方式および税率改正に当たり、計画した財政調整基金の充実につ

いて、当年度も予定の2千万円の繰り入れを行ったことで、令和2年度の収支は前年度を上回っています。

13ページ、表17のとおり、実質収支では昨年度より1,338万2千円増加し、5,054万5千円となっています。今般の新型コロナウイルス感染症は、国保事業運営のうえでも医療費の推計が難しくなることが予想されます。

県納付金等に関する情報の収集や、財政調整基金の的確な活用について十分に検討し、国保財政の健全性堅持に努めていくことが必要です。

一方、被保険者が減少を続ける中であって、保険給付費が前年度を5%以上も上回ることで、中でも高額医療費の伸びは大いに憂慮すべき状況であり、詳細な分析を行い、コロナ禍において難しい面はあるが、被保険者個々の健康意識を高めることにつなげる取り組みを図ることが大切です。

また、13ページ、表18にあるように、現年および過年分を合わせた徴収率は、徴収事務の努力の結果により、7年続けて収納率が向上しました。しかしながら、依然600万円を超える収入未済額となっているので、令和2年度同様に引き続き徴収事務の強化を図ることを望みます。

以上が、一般会計および抜粋した特別会計の決算概要であります。

過疎地域に位置し、小規模自治体である本町にあつては、歳入に占める町税の割合は13.4%と、今後も自主財源の安定的な確保は厳しいことが予想され、交付税をはじめとする依存財源に頼らざるを得ないのが現状であります。

しかし、そうした状況ではありますが、町政には財政の健全性を保ちながらも、町内の経済活性化を推し進めつつ、直面する課題や最優先して行うべき事業を見極め、限られた財源を有効に活用し、町民サービスを低下させることがないよう効率的な行財政システムの構築に努め、最小の経費で最大の効果を上げるよう、真に住民生活に必要とされる施策を積極的に展開するとともに、さらなる活性化を図り、将来を見据えた政策の推進に取り組まれることをお願い申し上げます。

なお、詳細については、お手元に配布してあります「財政健全化審査意見書」および「決算審査意見書」を見ていただき、確認をお願いいたします。

以上、決算審査等の概要を申し上げましたが、依然として厳しい財政事情の中で、町政執行にあたられた佐野町長ならびに役場関係職員のご努力と町議会議員の皆さまのご精励に対し、心から敬意を表して、審査結果の報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、監査委員の審査結果報告を終わります。

若林代表監査委員、ご苦労さまでした。

ここで、暫時休憩をいたします。

再開は13時です。

休憩 午後 0時16分

再開 午後 1時00分

○議長（遠藤光宣君）

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

○議長（遠藤光宣君）

ただいま議題となっております案件のうち、日程第4 報告第6号および日程第5 報告第7号についてを先議いたしたいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、日程第4 報告第6号および日程第5 報告第7号について、本日、先議することに決定いたしました。

議案集1ページをお開きください。

日程第4 報告第6号 専決処分した事件の承認について（南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例）の承認についてを議題とし、質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、日程第4 報告第6号 専決処分した事件の承認について（南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例）の質疑を終結いたします。

次に、議案集4ページをお開きください。

日程第5 報告第7号 令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題とし、質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、日程第5 報告第7号 令和2年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び資金不足比率の報告についての質疑を終結いたします。

次に、討論を行います。

日程第4 報告第6号について、討論いたします。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で、日程第4 報告第6号についての討論を終結いたします。

次に、採決を行います。

日程第4 報告第6号 専決処分した事件の承認について（南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例）の承認については、原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、日程第4 報告第6号については、原案のとおり決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

日程第6 議案第48号から日程第22 議案第64号および日程第23 認定第1号から日程第32 認定第10号までの27件についてを議題とし、順次質疑を行います。

なお、これらの案件については委員会付託を予定しておりますので、詳細な質問は委員会審査でお願いいたします。

最初に、日程第6 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第6 議案第48号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第7 議案第49号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第7 議案第49号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第8 議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第8 議案第50号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第9 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第9 議案第51号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第10 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第10 議案第52号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第11 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算(第3号)について、質疑を行います。

別冊の一般会計補正予算書をご用意ください。

質疑は、全ての会計において事項別明細書により行います。

はじめに、歳入について、11ページから13ページ、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、歳出に移ります。

第2款総務費から第4款衛生費について、17ページから19ページ中段まで、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、第5款農林水産業費から第9款教育費、19ページ下段から最終23ページまで、質

疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第11 議案第53号についての質疑を終結いたします。

次に、別冊の特別会計補正予算書をご用意ください。

日程第12 議案第54号 令和3年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について、質疑を行います。

9ページと13ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第12 議案第54号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第13 議案第55号 令和3年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算(第2号)について、質疑を行います。

23ページと27ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第13 議案第55号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第14 議案第56号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について、質疑を行います。

事業勘定39ページと43ページ、直営南部診療施設勘定51ページと55ページおよび直営万沢診療施設勘定63ページと67ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第14 議案第56号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第15 議案第57号 令和3年度南部町介護保険特別会計補正予算(第2号)について、質疑を行います。

77ページと81ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第15 議案第57号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第16 議案第58号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について、質疑を行います。

91ページと95ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第16 議案第58号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第17 議案第59号 令和3年度南部町睦合財産区特別会計補正予算(第1号)について、質疑を行います。

105ページと109ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第17 議案第59号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第18 議案第60号 令和3年度南部町富沢財産区特別会計補正予算(第1号)について、質疑を行います。

119ページと123ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第18 議案第60号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第19 議案第61号 令和3年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)について、質疑を行います。

133ページと137ページ、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第19 議案第61号についての質疑を終結いたします。

次に、議案書をご用意ください。

日程第20 議案第62号 工事請負契約の締結について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第20 議案第62号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第21 議案第63号 工事請負契約の締結について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第21 議案第63号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第22 議案第64号 工事請負契約の締結について、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第22 議案第64号についての質疑を終結いたします。

次に、別冊の決算書をご用意ください。

日程第23 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について質疑を行います。

質疑は、全ての会計において事項別明細書により行います。

はじめに、歳入について質疑を行います。

第1款町税から第14款使用料及び手数料、9ページから14ページ下段まで、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、第15款国庫支出金から第22款町債、14ページ下段から24ページまで、質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、歳出に移ります。

第1款議会費から第2款総務費、25ページから34ページ上段まで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、第3款民生費から第4款衛生費、34ページ中段から43ページ中段まで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、第5款農林水産業費から第6款商工費、43ページ下段から48ページ下段まで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、第7款土木費から第8款消防費、48ページ下段から54ページ下段まで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、第9款教育費について、54ページ下段から67ページ上段まで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、第10款災害復旧費から第13款予備費及び財産に関する調書について、67ページ中段から81ページまで、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

次に、南部町土地開発基金運用状況調書について、最終82ページ、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第23 認定第1号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第24 認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、5ページから9ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第24 認定第2号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第25 認定第3号 令和2年度南部町指定居宅サービス特別会計歳入歳出決算認定について、5ページから11ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第25 認定第3号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第26 認定第4号 令和2年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、はじめに事業勘定、財産に関する調書を含め、6ページから25ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、直営南部診療施設勘定、財産に関する調書を含め、5ページから13ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

次に、直営万沢診療施設勘定、財産に関する調書を含め、5ページから13ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第26 認定第4号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第27 認定第5号 令和2年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、財産に関する調書を含め、7ページから28ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第27 認定第5号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第28 認定第6号 令和2年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、5ページから9ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第28 認定第6号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第29 認定第7号 令和2年度南部町睦合財産区特別会計歳入歳出決算認定について、財産に関する調書を含め、5ページから8ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第29 認定第7号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第30 認定第8号 令和2年度南部町富沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について、財産に関する調書を含め、5ページから9ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第30 認定第8号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第31 認定第9号 令和2年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について、財産に関する調書を含め、5ページから8ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第31 認定第9号についての質疑を終結いたします。

次に、日程第32 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について、財産に関する調書を含め、5ページから8ページまで、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第32 認定第10号についての質疑を終結いたします。

以上で、質疑を終結いたします。

これより提出議案の委員会付託を行います。

会議規則第39条第1項の規定により、お手元に配布してありますとおり、所管の常任委員会へ提出議案を付託したいと思いますが、これに、ご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、お手元に配布してありますとおり、所管の常任委員会へ付託することに決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

日程第33 一般質問を行います。

一般質問は、通告書の1つの質問事項ごとに質問と回答を終了し、次の質問事項に進む一問一答方式です。

1人の一般質問の持ち時間は、質問と回答の時間を含め40分間です。

また、同一の質問事項についての再質問は、2回までですのでもよろしくお願ひいたします。

なお、残り時間は、議場内に設置してありますモニターに表示されますので、十分ご留意ください。

時間が経過した場合は、議長が質問を打ち切りますので申し添えます。

最初に、8番、望月光彦議員の質問を許します。

望月光彦議員の質問は2問あります。

まず、1番目の質問を求めます。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

それでは、2件の一般質問を行わせていただきます。

まず1件目の旧万沢小学校の有効活用について伺います。

2020年3月に、富河小学校との統合により、万沢小学校が廃校となってから、早いもので、この9月で1年半が経過しようとしています。また、グラウンドの南西側にある児童館も、今年の3月で閉館となりました。

現在は、校舎も体育館も有効利用されることなく、放置された状況です。当然のことですが、建物は、人の出入りもなく、利用されなければ、施設は荒れ果て、周辺も木々や草が生い茂り、ひどい様相となってしまいます。

幸いにも、校舎周辺や、グラウンドの草刈りと草取りなどは、地域住民のボランティア活動によって実施していただいています。本当に頭の下がる活動だと思います。

しかし、傾斜の厳しい所や、高い樹木の剪定は危険性が高いことから、町へお願ひし、業者

に一部対応していただきながら、維持管理されています。

これらの管理も含め、旧万沢小学校が1日も早く有効活用されることを地域の皆さんは強く望んでいます。当時、小学校の統廃合が議論されていた段階では、校舎の状態確認を行い、万沢地区の皆さんと意見交換しながら、将来の利活用の方向性を検討していきたいとの説明でしたが、いまだに意見交換の場も設けられておりません。

聞くところによれば、空き校舎を利用したいといった、いくつかの民間事業者が、個別に現地を見に来ていたとのことですが、地域へはそういった情報も届いておりません。

今後、旧万沢小学校をどのような形で有効活用の方向性を検討し、進めていくのか、万沢小学校の同窓生でもあります、町長の考えを伺いたい。

また、地域住民の皆さんと意見交換する機会を、早急に実施していただきたいわけですが、具体的な計画があるのか、併せて伺います。

○議長（遠藤光宣君）

望月光彦議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、望月光彦議員の質問にお答えいたします。

答弁するに当たりまして、令和2年4月に、新たな富沢小学校へと統合する際には、万沢地区の皆さまには、多大なご理解を賜りましたことに、改めて御礼申し上げます。

また、廃校となりましてからも校舎周辺の草刈り等、ボランティア活動をしていただいております地元の方々に、重ねて感謝申し上げます。

さて、旧万沢小学校の有効活用についてであります。ご存じのとおり、旧万沢小学校の校舎は、内装に町内産の木材をふんだんに使用し、多数のオープンスペースを設けた大変斬新な建築物であり、万沢地区のシンボルともいわれる建物であると思っております。

だからこそ、これからの利活用方法について、私は「安易な妥協」をしたくないと思っております。

ご質問にありましたように、これまで民間業者から2、3お話をいただいていることは事実ですが、具体的な提案に至っているものではありませんので、地域の皆さまにお知らせする状況にないと考えております。

少々時間は経過いたしました。まずは、統合時にお約束したとおり、本年度中に万沢地域の皆さまを対象とした意向調査を実施し、活用の方向性を検討する参考とさせていただきたいと考えています。

また、万沢地域以外にお住まいの町民の皆さまからも、ご意見があればお聞かせいただけるよう、インターネットによる、ご意見募集サイトも開設いたします。長期的な視野に立つ中で、先ほど申し上げましたが、安易な妥協はせず、結論を出したいと考えておりますので、今しばらくお待ちいただきたいと思っております。

現在の、敷地内の建物および周辺の維持管理につきましても、各関係課において適切に管理保管させ、隣接する児童館につきましても、早急に調査等を開始させる予定でありますので、議員の皆さまはじめ、地域の皆さまには、引き続きご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

それでは、再質問させていただきます。

答弁の中で、本年度中に万沢地域の意向調査を実施するということですが、書面での意見集約ではなくて、コロナ禍の中で人を集めるというのは、非常に難しい面もございますけれども、少人数での会合を計画していただいて、生の声を聴いた中で、町民と一体となった形で今後の方向性を進めていってほしいというように思いますが、いかがでしょうか。

○議長（遠藤光宣君）

質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長

○町長（佐野和広君）

では、再質問にお答えいたします。

当然、本年度実施の意向調査のみで終わりにすることはいたしませんので、このへんはご理解をいただきたいと思います。

先ほど安易な妥協はせずと申しあげましたとおり、より広く地域の皆さまのご意見、ご要望をお聞きするためには、書面での意向調査が最善の方法であると私は考えております。

それは、今回予定しております調査対象は、万沢地区の中学生以上を予定しておりますので、およそ850人となることから、地域のご意見が多く伺えるという点と、全町民を対象としたホームページによる意向調査も同時に実施することで、幅広いご意見に耳を傾けることができると考えております。

また、現在の状況がコロナ禍であることを踏まえ、まずはアンケート方式の調査をし、それをもとに適正な規模の意見交換会を今後、時期を見極めて実施していきたいと考えております。

寄せられた意見の中で特出すべきものについては、それが実現が可能かどうか、また有効な活用策になるのかを十分検討した上で、皆さんにお示ししたいと考えております。

なお、旧富河中の活用については、10年の歳月を要しました。少し時間がかかりましたが、卒業生からはおおむね良かったというご意見が数多く寄せられております。

私も、万沢小3、872名の卒業生の1人として、しっかりとした考えのもとに対処したいと考えております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

町長の答弁が終わりました。

質問はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

時期が時期ですので、こういう形でまずは書面でというご意見でしたけれども、それも分か

らないことはないので、書面でまず集めていただいて、その後また時期を見て、生の声をいろいろ聴いていただいて、今後、小学校の有効な活用ができるように、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

一応、以上で、1問目の質問は終わりにさせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

次に、2番目の質問を求めます。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

それでは、2件目のお買いものツアーのその後についての質問をいたします。

現在、万沢地区においては、ここ数年の間に、商店は全くなり、日中の家には高齢者ばかりとなり、多くの若者が富士・富士宮などに転出し、運転免許証を返納してしまうと、買い物にも行けず、数少ない移動販売に頼らざるを得ません。そんな中、今年1月に、福祉保健課で、万沢地区をモデル地域に指定して、交通手段の確保が難しいことにより、日常生活の買い物が困難な高齢者を対象に、お買い物ツアーを実施するという、参加者募集のチラシを目にしたとき、私自身が描き望んでいたことが実現されるということで、大変嬉しくなりました。

ツアーに参加できるのは、65歳以上の方、自力で車への乗降、店内を移動できる方、自らの判断で買い物ができる方、自身で車が運転できず、買い物に困っている方といった条件はあるものの、タイムリーな企画でありました。

試験的な実施ということで、1月から3月までの3カ月間と、短い計画ではありましたが、ツアーへ参加した方からの声は、大変好評でした。ツアーを運営するスタッフが、買い物袋を持ってくれたり、地域の仲間と話をしながら楽しく、町内のお店をいくつも回ったりと、気分転換もできたので、これからも継続した事業として、実施してほしいと希望する方がほとんどであったと聞いています。

私も実感として、当の本人たちからそういう話を聞いております。

4月以降は、お買い物ツアーへの参加者の声を聞きながら、検討するとのことでしたが、高齢化がますます進むわが町にとって、お買い物ツアーのような支援は、今後必要不可欠な行政サービスの一つではないかと、私は考えます。そこで、その後の検討結果と、大募集をかけて実施したお買い物ツアーを、今後どのようにしていくのか考えを伺います。

○議長（遠藤光宣君）

望月光彦議員の質問が終わりました。

福祉保健課長の答弁を求めます。

佐野福祉保健課長。

○福祉保健課長（兼）地域包括支援センター所長（佐野武人君）

ただいまの8番、望月光彦議員の買い物ツアーの今後のあり方についてのご質問ですが、この事業は、コロナ禍ではありましたが、本年1月から3月の3カ月間、月2回、合計6回実施をいたしました。日常生活の買い物にお困りの高齢者を対象に、感染予防対策を行いながらのツアーを試験的に行いました。

運営は、福祉保健課と社会福祉協議会の共同事業とし、実態の把握調査も兼ねて実施したため、利用料は徴収いたしませんでした。

事業実施の背景には、町地域ケア会議の中に設置してあります住民代表による交通・買い物

グループで、個人や地域で共生してできること、行政サービスとして実施していくべきものに分けて、地域の課題について議論を重ねてきました。

地域での支え合いでは、平成30年度から「ちよっくりボランティア事業」による家事援助サービスで買い物代行も活動内容に含まれ、令和2年度では、1件の利用がありました。今年度については、利用実績はありません。

今回のツアーは、行政サービス事業とし、万沢地区をモデル地域に指定し、サンプル調査とするため、利用希望者には事前予約していただきました。

募集した結果、富士見区、元宿区、新宿区の女性9名から登録があり、年齢は71歳から88歳の方で、1人暮らしの方が4名、夫婦のみ世帯の方が2名、家族と同居している方が3名でした。利用延べ人数は、25名という結果となりました。

福祉保健課で把握している現状では、外出するのに不便を感じている高齢者や、障がい者の方はかなりいると感じております。家族やご近所の支援で賄えている部分と、行政による外出支援サービスと合わせることで、今のところ大きな問題、相談等はないと思われま

す。多様化する外出目的に対して、自力で移動が困難な方へ、新たなサービス提供が必要であることは十分承知しております。総務課、交通防災課、産業振興課、福祉保健課が横断的に連携し、社会資源を活用した移動システムの構築を、今後目指してまいります。

自家用車の利用が不可欠な本町では、移動手段を持たない高齢者の通院や、買い物のための外出には、現在、町営バスやタクシーが主な移動手段となりますが、便数の少ない町営バスは利用者も少なく、福祉タクシーシステム事業は、集落が点在する本町では、医療機関や商業施設が遠距離となるため、自己負担の大きいタクシー利用は敬遠されることや、コロナ禍でもあり、タクシー事業については使用枚数も横ばいからやや減少といったところでした。

今年度から制度を拡充し、1回の乗車につき、1人1枚500円の利用から2枚までの利用ができるよう見直しを行いました。複数で乗車の場合は、同乗者もそれぞれ2枚ずつ利用できるように見直しを行い、ご近所同士でタクシーを相乗りすることにより、少ない負担でより遠くの施設まで出かけることが可能になると思います。

議員ご質問の、お買い物ツアーにつきましては、福祉タクシーシステム事業の利用状況を注視しながら、新規事業として実施すべきか判断をしてみたいと思います。

○議長（遠藤光宣君）

福祉保健課長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

コロナ禍の中での試行実施で非常に大変だったと思います。本当にお疲れさまでございます。試行だけしてこれで終わりというわけにも、ちょっと私としては物足りない、残念な結果なので、再度質問をさせていただきますけど、まず、ケア会議メンバーや参加した町民からは、非常に好評でしたが、継続してほしいという要望、意見に対して、町はどう考えているのかというのをまず伺いたい。

それから、万沢だけ試行的にやってみましたということですがけれども、富河や南部も試行すれば利用者はもっと増大するのではないかと思います。もっとやってほしいという人たちがいっぱい出てくるのではないかとというような希望的観測になりますけど、私はそう思っていま

す。ですから、そちらのほうの施行計画は考えていないのでしょうか。

それから、これはせっかく実施してくれた役場に対して反対をするような意見になりますけれども、要望、希望が多いことから、町が実施できないのなら、ボランティア活動としてバスの運転を行い継続させたいという町民もいますし、私もできることであればバスの運転などをして、送り迎えをしてあげたいなというように考えて、実現の方向でぜひ進められないかなというように、強く思っております。

これらのことも考えて、答弁をお願いしたいと思います。

○議長（遠藤光宣君）

望月光彦議員の質問が終わりました。

福祉保健課長の答弁を求めます。

佐野福祉保健課長。

○福祉保健課長（兼）地域包括支援センター所長（佐野武人君）

それでは、8番、望月光彦議員の再質問について答弁させていただきます。

まず、今後の買い物ツアーの考え方、その他の地域での施行計画についてのご質問であります。今回の事業は買い物に困っている高齢者がどのくらいいるのかの実態把握を目的に実施しました。延べ25名の方が利用してくださいました。

1回の利用人数は2名から6名ではありましたが、毎回利用される方も2名おりまして、高齢化の進む本町では、外出支援事業は必要なサービスであることを確認できました。

今後、新しい事業に取り組むためには、関連する事業の廃止も含め、見直しを同時に検討していかなければなりませんので、関係各課が横断的に連携をし、町内にある社会資源を有効活用した移動システムの構築を目指してまいります。

また、富河地区、南部地区での試行計画ではありますが、万沢地区はサンプル調査という意味合いでの実施でありましたので、その他の地域での試行計画を、買い物ツアーを試行的に行う予定はございません。

それから、次の町ができないのならボランティアでも継続したいということではありますが、今回のこの地域での支え合いではちょっくりボランティアという事業を行っております。これによります家事援助サービスで買い物代行も活動内容に含まれておりますが、利用がないのが実情でございます。

ちょっくりボランティア事業では、人の輸送というものは現在は行っておりませんが、今後、その人の輸送に関しても課題を整備して、取り組んでまいります。

しかしながら、このちょっくりボランティアについては、利用者のニーズと担い手とのスムーズなマッチングは非常に難しいと感じておりますので、まずは多様化する外出目的に対応しやすい福祉タクシー事業を令和3年度から見直し、町としましても今後、この事業の拡充を図ることで、さらに利用しやすいサービスになるよう、ケア会議等を通じて、協議をしてまいります。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

福祉保健課長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

今の答弁を聞いて、率直な意見を言わせていただきますと、買い物ツアーはやりませんというふうにししか取れないんですよね。要するにそれに代わる福祉タクシーを充実させますよというような答弁にししか聞こえないのですが、せっかくこういう新しい事業を目覚めさせて、それを誰が種を撒いたか、若い役場職員が行ったのか、またケア会議でそういう話が出たのか、よく分かりませんが、高齢化が進むわが町では必要と考えると言っておいて福祉タクシーが1枚から2枚に使えるようになったから、そちらのほうに移行していきますよといった言い訳にししか聞こえない。極端な言い方をして申し訳ないですけど、せっかくいいことをやって、ようやく種を撒いて、芽が今から出ようとするときに、何か希望している高齢者もいるわけですけど、そういう芽を摘んでしまうというのは、非常に残念な気がします。

もっと極端な言い方を言いますと、私も会社勤めをしていましたので、例えば新しい人が、新しい役職について、その職場で頑張るといったときに、その人がその人なりのいいことをその場所を出して行っていただきたい。

今までの継続では駄目だと思います。少なくともその人がそこに就いた以上は、私がここに異動してきたなら、私はこういうこと、今までにないことを、私はここをやってみるんだと、そういう気持ちでほしいですね。今までやってきたら、ちょっと難しいからできないとか、そういう観点で答弁をしてほしくない。できるためにはどうしたらいいのか。先ほど言いましたように、ボランティアでやってもいいという町民がいるんです。いいことだから、悪いことをやろうなんて人はいないんですよ。だからぜひ前向きに検討していただきたいんです。

富河とか南部もやるつもりはありませんと言い切って終わりなんですよね。やったらもっと人が増えると思いますよ。もう少し前向きに考えていただけないでしょうか。これでも検討するつもりはないのでしょうか。答弁をお願いします。

○議長（遠藤光宣君）

望月光彦議員の質問が終わりました。

秘書政策監の答弁を求めます。

小倉秘書政策監。

○秘書政策監（小倉弘規君）

望月光彦議員のご質問にお答えしたいと思います。

前向きとか、後ろ向きというご表現をいただきましたけど、決して行政が後ろを向いているわけではございません。

先ほど、福祉保健課長が申し上げましたとおり試行的事業で、ポイントは無料だというところになります。ちょっとボランティアなんかもそうですが、いわゆる町民の方を有償で、ボランティアもいくらか払いますが、そうすると道路運送法第78条の項目が関わってきます。そのところは、有償運送になりますので、先ほど言った近所の方が善意でお手伝いをするというのであれば、まったく法令上は問題がありませんが、たとえいくらかのご負担をいただくというような制度づくりをいたしますと、そこには法令に基づく手続き行為が出てまいります。そうすると、NPO法人等、そういう組織を作って、そこが陸運事務所の許可を受けてというようなことになります。試行事業は無償でやったので、何らそういう手続きもないですが、議員がおっしゃるとおり、そういう意向がこれから増大してきて、そういうことが真に南部町の高齢者福祉の一助となる判断を、また町長がされた段階では、後ろ向きではなく前向

きにそういうことも検討する時期が来るのではないかと思います。

ただ今日、ご質問いただいた段階では、そういったもろもろの法令等も勘案した場合については、何らかの手続き行為も行政がやるものですから、整理をした段階で、お答えをしていかなければならないので、後ろを向いているということではないということをご理解ください。ご提案のことも視野に入れて、庁内で検討を横断的にして、何らかの方法がいいかということについては、検討は今後も続けてまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、望月光彦議員の一般質問を終了いたします。

ご苦労さまでした。

○8番議員（望月光彦君）

最後に、秘書政策監のほうからフォローしていただきましたので、ぜひそれを期待しながら、実施の方向で実現できるような形で、ぜひ進めていただくことをお願いしまして、質問を終らせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

次に、10番、仲亀佳定議員の質問を許します。

仲亀佳定議員の質問は2問あります。

まず、1番目の質問を求めます。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

2問質問がありますけど、最初の質問をさせていただきます。

空き家バンク登録者と成約者への新たな助成金交付制度の創設について。

平成15年に旧南部町と旧富沢町が、山梨県第1号として市町村合併をいたしました。合併当時の人口は1万1千人でありましたが、これまで18年が経過し、本年7月末現在において、本町の人口は7千人までに減少いたしました。合併から約4千人の減少であります。

町ではさまざまな施策実現とより良い町づくりに向け、総合計画などを基に事業推進を図らなければなりません。

人口推計においても統計的な推移による数値は把握していると思っております。現行の推移を考慮しますと、人口減少の一途を辿り、さらに過疎化は進み、限界集落になる可能性が非常に高くなっていくことが懸念されるのではないのでしょうか。

中部横断自動車道の全線開通、企業の運用開始、数年後の新々富士川橋の開通等々、本町にとって大きなメリットがあることは十分認識しておりますが、町はこのような展開を機に、新たに人口増に繋がる施策を展開することが必要不可欠であると考えられます。

私は人口減に伴う要因の一つに空き家対策に関する推進事業への目に見えた向上性のある取り組み方がこれまでと何ら変わらないように思っております。

本町において、空き家としてカウントできる戸数は数百以上あると思われませんが、それぞれの事情、実情を踏まえ、空き家を所有している持ち主が、空き家物件として登録をしたくとも、空き家に家財道具等が残ってしまっており、物置状態のまま現存しているのが事実であり、片付け、処分等に要する費用は多額であるため、登録ができないとの事例は非常に多いとのことあります。

スタッフも頑張っておりますが、このような状況を町はどのように捉え、どのような対策を取るべきかなのかを考えているかお聞きしたいと思います。

私は、このような実情を踏まえ、空き家対策の課題としてともに考え、事業として取り組まなければならない大きな課題であると認識を強く抱いております。空き家バンク登録者への助成金支援制度を新たに創設をし、交付することがこれからの対策として重要であり、本町独自で魅力ある制度等を作り、人を引き付けるような事業がこれからは必要であると考えます。

町長の手腕に期待を寄せるところでありますが、実現に向けての町長の考えをお聞かせください。このような制度を創設することにより、登録件数が増えることは間違いなく、件数確保により素早い対応ができます。

中部横断道の全線開通により、道路アクセスが最良のものとなり、県内外から大勢の人々が本町を訪れ、さらには本町への移住、定住につながることは、これから限りなく考えられます。

町長には、空き家対策への事業促進に対し、強化策を図っていただきたい。これは、私の強い要望であります。

人口増施策への取り組みは、非常に難しく、空き家対策だけに特化できるものではありませんが、総合的見地から人口増事業にあつては、さまざまな受け皿の基盤をしっかりと計画的に作成し、移住者が何を求めているのか、段階的に進めるべき事項は何なのかを検証し、実行することが最重要課題だと思っております。

先ほど述べた助成金の給付以外に、移住、定住者等に対する新たな制度を創設する考えはないか、町長にお聞きしたい。

また、本町における人口増課題は、町長が日ごろ公約としている「一流の田舎町」構想を完成させるための一事業として大きなウエイトを占めることとなりますが、これから人口増を実現するための施策内容とその計画をお聞きかせください。

○議長（遠藤光宣君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

仲亀議員のご質問にお答えいたします。

人口減少対策や、人口推計については、6月定例会での一般質問でお答えさせていただきましたが、それを踏まえての、「空き家バンク制度の充実と、成約件数の増加策」であります。空き家バンクの登録件数の増加については、これまで人口減少を緩やかにするための施策の一つとして取り組んでまいりました。

しかし、ご指摘のとおり、家財道具の処理や相続登記の問題で、登録に至らない空き家が、多数存在していることも承知しているところです。

この問題は、自治体が「空き家バンク」制度を進めるにあたり、必ず直面する非常に悩ましい課題であると考えております。

県内市町村の事業展開の状況を確認いたしますと、登録物件に対する改修費助成や、家財処分費等への補助など、今年5月時点において15市町村が「空き家バンク」に関連した助成・補助事業を実施しており、コロナ禍における2拠点居住促進とあいまって、各自治体とも補助制度拡充を加速させたように見受けられます。

本町においても、今後、助成制度導入を念頭に置き、他自治体の状況を確認・分析する中で、本町に適した仕組みづくりを進めていかなければならないと考えております。

次に、移住・定住者に対する新たな助成制度の創設についてであります。現在の助成制度は、県と町で実施している移住支援事業がありますが、細かく設定された要件を満たさなければ対象とならないことから、現在までの支援実績はありません。

また、すべての転入者から移住者を抽出して助成等を行うことは、移住定住促進の観点から判断が困難なため、「空き家バンク」事業と関連づけて、移住・定住促進事業として助成していくことが望ましいと考えております。

次に、人口増加を実現するための施策とその計画であります。今後人口を増加させていくことは、現実的には、大変厳しい状況であると考えております。「いかに人口減少を緩やかな曲線にしていくのか」が当面の課題であると思っております。あえて「人口増加の実現」に視点を移すとすれば、大規模な集合住宅の整備なども、一つの施策として考えられます。このことは議員のお考えと相違はないのではないかと、私は思っております。

しかしながら、本町の財政規模等を考えますと、大きな決断をしなければならない施策でありますので、私の一存で決定すべきものではないことも承知しております。

町が今、すべきことは、「新過疎計画」に沿って、小規模ながらも豊かなまちづくりを目指し、「若者定住を支援する宅地分譲」や「空き家利活用の移住促進」、「先進的な幼児教育」など、これから町を支えていく若年層、特に女性・母親に「住みやすさ・子育てしやすさ」において、南部町を選択していただけるような施策を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

ただいま町長から説明をお受けいたしました。若干消極的な回答だと受け止めております。南部町を選択していただけるような促進事業を3点ほど掲げていらっしゃるんですが、町長の任期中における取り組みと計画実現実行に向けた現時点の構想と、現在、どのように取り組んでいるのかをお聞きしたいと思います。

○議長（遠藤光宣君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、仲亀議員の再質問にお答えいたします。

まず、若者定住を支援する宅地分譲であります。ご存じのとおり、南部昭和町への宅地分譲計画、また越渡団地跡地を利活用しての宅地分譲など、順次進めているところでありますが、先ほど触れた大規模な集合住宅の整備についてもグリーンハイツ富士見住宅が一定の成果を収めたことから、定住効果の高い施策になりうると考えております。

2つ目の空き家利活用の移住促進であります。移住者を南部町へ招き入れやすくする住環

境の整備は、宅地分譲はもちろんのこと、空き家バンクの充実が有効であることは十分に理解をしておりますので、バンクへの登録者数を増やすための町独自の支援策について、担当課において調査研究をさせ、実施してまいりたいと考えております。

また、3つ目の先進的な幼児教育であります。これから町を支えていく若年層、特に女性・母親に南部町を選択していただけることこそが、若年層家族の移住定住につながると考えております。

人間形成の基礎をつくる幼児期の言葉、運動、生活のすべてを学び、それを吸収するスピードに驚かされたのは私だけではないと思います。

幼児期の教育は、その後の人としての生き方を大きく左右するため重要であるといわれております。一般生活における英会話、遊びながら身につける全身運動・ボディーバランスや、デジタル社会への対応力などを保育に導入し、独創性豊かな幼児教育の魅力を発信していくことが、若年層の移住定住の増加や、緩やかな人口減少を実現するための効果的な施策になると考えております。

今後、担当課には町立保育所2施設、民間保育園1施設とも連携を図る中で、他に類のない幼児教育の魅力づくりに努めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

町長、ぜひ、実現に向けて、思い切った施策をしていただけることをご期待申し上げます。

以上で、1番目の質問は終わらせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、1番目の質問を終了いたします。

次に、2番目の質問を求めます。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

それでは、2番目の一般質問をさせていただきます。

土地バンク登録制度の実施について。

町内には荒れ果てた放棄地が多く見られます。高齢化が進み後継者不足により、維持管理ができないとのこと。そのまま放置しておくと、獣の住みか等になり、最悪の状態になるのではないのでしょうか。そのためにも、土地所有者に土地バンクへの登録により、自然豊かな住みよい南部町を町外に配信し、土地活用を活性化に繋げられるのではないのでしょうか。

課長のご意見をお伺いします。

○議長（遠藤光宣君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

企画課長の答弁を求めます。

杉山企画課長。

○企画課長（杉山一陽君）

それでは、仲亀議員のご質問にお答えをいたします。

土地バンク登録制度についてのご質問であります。議員もご存じのとおり、山間地域の南部町は面積の96%ほどが森林等で占められており、可住地については、農地等を含め、残り4%ほどとなっております。

この、可住地のうち1%強が、現時点で宅地などの生活スペース・居住スペースとなっております。

このことから、南部町における「可住地面積」は、非常に限られた広さであります。

仲亀議員からご提案いただいた「土地バンク登録制度」は、現在実施している「空き家バンク登録制度」と同じく、町の移住定住促進や担い手不足解消において、重要な施策の一つであると考えております。

しかし、遊休地等の所有者が、町の「土地バンク」へ登録する行為により、安心感を抱き、「町へ預けた」という誤った解釈を与える可能性もあるため、管理放棄や、土地の荒廃化を加速させる要因になるのではないかの懸念も拭いきれませんので、慎重にならざるを得ません。

また、今回の「土地バンク登録制度」から農地の貸し借りについて、切り離して申し上げますと、現在、農業委員会や農地利用最適化推進委員会が窓口となり、調査・調整後、担い手探し等の斡旋を行っております。

それに伴う財政支援についても、農地中間管理機構が行っておりますが、直近3年間の実績はございません。貸出し希望に対して借り受け希望者が極端に少なく、マッチング事例が極めて少ないことは理解しているところであります。

今後は、土地開発行為の取り扱いや、農地法関係などの課題について、十分に調査研究を重ね、農業委員会や産業振興課など関係機関とも、十分に協議した上で、実施の有無を判断していきたいと考えております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

企画課長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

今、課長からの説明ですと、大変ありがたいということですが、実は農地法につきましても、大変難しい問題であります。私の言う土地はあくまでも宅地、原野、雑種地、白地等です。要は、農業委員会に関係のない土地のことです。土地バンク登録制度を町と所有者の間で契約方式を取り入れることにより、誤った解釈をされることがなくなるのではないのでしょうか。

町独自で促進できる手法はいくらでもあるはずですが、積極的な事業促進を図っていただくことを望みますが、どう考えるかお伺いします。

○議長（遠藤光宣君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

企画課長の答弁を求めます。

杉山企画課長。

○企画課長（杉山一陽君）

再質問にお答えしたいと思います。

先ほども述べさせていただきましたが、今回ご提案いただきました土地バンク登録制度は、町の移住定住促進において重要な施策の1つとなることは、議員のお考えと相違する点のないところでございます。

土地バンク登録制度によって、未利用となっている可住地が農地所有者、購入者等の同意により有効に活用ができ、管理放棄地解消の施策としても効果が高く、運用方法を工夫することで、安心、安全に導入することが可能なようですので、関係課と十分に協議を今後重ね、課題解決を図りながら、制度を早期に創設できるよう努めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

企画課長の答弁が終わりました。

質問はありませんか。

10番、仲亀佳定議員。

○10番議員（仲亀佳定君）

ぜひ実施されることを期待しております。

以上で、私の質問を終わらせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、仲亀佳定議員の一般質問を終了いたします。

次に、3番、望月小五郎議員の質問を許します。

3番、望月小五郎議員。

○3番議員（望月小五郎君）

私からは、先月29日に全線開通いたしました中部横断道からわが町への集客についてお伺いいたします。

お詫びしたいのは、この質問要旨の提出が全線開通前でしたので、全線開通することによって富沢、南部インターの利用客が減ってしまうのではないかと感じていました。しかし、開通後の両インターの利用客はかなり増えていて、特に私の住んでいる近くの富沢インターの利用車両は驚くほどです。

ただし、ご承知のとおり富沢インターは、有料無料の分岐点でもあります。静岡方面から富沢インターに乗って、富沢インターで降りて静岡方面に帰る車両がかなりの割合を占めています。区間的に、国道52号線の交通量減少にもつながっています。

中部横断道利用のお客さまに、南部町目当てのお客さまになっていくための町の取り組みについてお伺いしていきたいと思えます。

中部横断自動車道の全線開通によって物流、緊急医療、災害対策などそのメリットは計り知れません。

一方、全線開通により富沢、南部インター利用客、国道52号線の交通量の減少に繋がり町の活力が失われるのではないかと危惧される場所でもあります。

何としても中部横断自動車道を南部町集客への大きな武器として活用していかなくてはなりません。

6月の一般質問の回答に道の駅を生かした町内商業施設への集客とありますが、具体的な計

画は指定管理者が考えていくというものでした。

しかし、町として2カ所のインター利用者を増やしていくための取り組みは、町の未来にとって非常に重要です。

J Aや道の駅と連携し、スタンプラリーの開催、特別町民証の発行など、他町の成功例を真似ていっても良いのではないのでしょうか、お客さまに自然豊かで温かい南部町を実感していただき、リピーターを増やしていくことが大切だと思っています。

中部横断道からの集客について町としてのお考えをお伺いいたします。

○議長（遠藤光宣君）

望月小五郎議員の質問が終わりました。

産業振興課長の答弁を求めます。

若林産業振興課長。

○産業振興課長（併）農業委員会事務局長（若林安彦君）

ただいまの3番、望月議員からの中部横断道全線開通後の集客についてのご質問であります。中部横断道全線開通後の効果的な集客や誘客につきましては、国土交通省、山梨県、峡南地域の自治体、道の駅、広域行政組合などで構成する「峡南地域道の駅ネットワーク協議会」において、既に協議、検討が重ねられております。

この協議会は、「中部横断自動車道全線開通後を契機に、峡南地域の道の駅を拠点とした地域全体の活性化を目的として、一貫性を持った効率的かつ効果的な情報・サービス提供を行う」ための施策を検討するため、令和2年8月に発足いたしました。当然本町も、この協議会に参画しております。

取り組みを推進するためのコンセプトは「峡南で、日本人修養」とし、峡南地域の「歴史・文化」「伝統工芸」「自然・癒し」「レジャー」をテーマに掲げ、「広域の観光情報サイト」を通じて情報発信を行います。

若者世代の皆さまには、SNS上に地域の口コミ情報を上げていただき、それぞれの地域の魅力や、観光資源を道の駅の電子広告版に発信してまいります。このほか、さまざまなイベント企画なども行う計画としております。

また、協議会では、「道の駅なんぶ」を遠方からのお客さまが、最初に立ち寄る地域のゲートウェイ駅、「道の駅とみざわ」は地域内拠点型駅として設定いたしました。

町といたしましても、各駅の特徴を生かし、駅周辺の観光資源等を中心に情報発信を行ってまいります。

各町における道の駅で行うイベント等にも積極的に参加・協力し、地域の情報を発信しながら、集客や誘客に努めていきたいと考えております。

全線開通した中部横断自動車道は、北陸地方や東海地方からの利用者が、かなり増えることが予想されます。

町内それぞれ道の駅を拠点として、更なる情報発信を行い、南部町の観光地や歴史、伝統文化、特産物などを知っていただき、「地域の魅力の向上」「経済波及効果」が得られるよう、道の駅指定管理者と協働して、最大限の努力を図ってまいります。

議員ご提案の、スタンプラリーなど、集客や誘客のためのツールにつきましても、今後検討してまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

産業振興課長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

3番、望月小五郎議員。

○3番議員（望月小五郎君）

お答えいただいたサイトやSNSを通じた情報発信、両道の駅との協力などを通じての集客・誘客には大いに期待しているところであります。

繰り返しになりますが、問題は来町していただいた皆さまにいかにして満足をしていただき、リピーターになっていただくかが大切です。自然環境に左右される特産品の生産量確保、観光資源等の整備などは道の駅を生かすためにも、また波及効果を増大させるためにも、今まで以上に傾注していかなければならないと思っています。

中部横断自動車道からの集客、誘客を成功させるため、改めて特産品の生産量確保、観光資源の整備について、町のお考えをお伺いいたします。

○議長（遠藤光宣君）

望月小五郎議員の質問が終わりました。

産業振興課長の答弁を求めます。

若林産業振興課長。

○産業振興課長（併）農業委員会事務局長（若林安彦君）

ただいまの3番、望月議員の再質問にお答えいたします。

まず、特産品の生産量の確保についてであります。本町の農業はお茶やタケノコなどの特産品や、稲作などを中心に行われております。

そのほか、小規模ではありますが青菜野菜、キウイ、クリ、ショウガを栽培している農家が数件あり、市場への出荷も行っております。

しかしながら、2次、3次産業への就業の増加、農業従事者の高齢化に伴う後継者不足を背景に担い手不足は深刻な状況となっております。町といたしましても、農業の生産基盤整備をはじめ、各生産部会への財政的支援、また鳥獣害対策等、さまざまな改善対策を行い、農業振興を図ってまいりましたが、農業を取り巻く環境は、依然として厳しく、問題の解決には至っておりません。

これらの課題を少しでも軽減させるために、付加価値の高い特産品の開発や、流通体制の整備と消費拡大につながるPRなど、県やJA等の関係機関と協力し、営農指導の強化を図りながら、生産量の安定確保に引き続き努めてまいりたいと思います。

次に、観光資源の整備であります。本町は南北を流れる富士川をはさみ、東西の山々に囲まれた豊かな自然があります。また、歴史的に貴重な財産である数々の史跡や、文化財が残っております。議員ご質問の観光資源の整備につきましては、山梨百名山をはじめとする山々、四季折々の移ろいを見せる溪谷、また桜や植物などの景勝地、南部氏を代表とする歴史資源、道の駅なんぶなど、5カ所の指定管理施設があります。このほか、東海自然歩道や各登山道の整備につきましても、これまで取り組んでまいりました。

中部横断自動車道の全線開通を契機に、新たに北陸方面や東海方面からの人流の増加が期待されるので、人流の変化に観光客のニーズの分析や、町内の埋もれた観光資源の掘り起こしにも取り組んでまいりたいと考えております。

付加価値を高める観光サービスを取り入れることで、滞在型の観光客を誘客し、お越しいただいたお客さまがリピーターとなっただけのような魅力ある観光地南部を目指してまいります。

以上です。

○議長（遠藤光宣君）

産業振興課長の答弁が終わりました。

質問はありませんか。

3番、望月小五郎議員。

○3番議員（望月小五郎君）

行政の皆さまに、特に自分が言いたいのは、タケノコの生産量が年ごとに変わり、少ないときには全くお客さまのニーズに応えられていない。タケノコの町をうたいながら、お客さまが来たときに物が無い。最悪の状態だと思っています。最低少ないときでも、裏年でも何百トンのタケノコは採れるよ、タケノコは十分南部町にはあるよというくらいの、生産量を確保していかなければ、タケノコで有名な町にしていくことがなかなかできないのではないかと考えています。

簡単なことではないし、当然そんなことはやっているよと言われると思うんですが、町民の皆さまやいろいろな人の協力を得て、今、耕作放棄地という話が出ていますが、ほとんど放棄地になっている竹藪もいくらでもあります。民家の近くにおいては、そんなに鳥獣害にやられていない竹林も多くありますので、そういうところを、先ほど仲亀議員が言いましたように、町で整備をし、地域の者がお互いに整備をして、みんなで生産量を上げていく。特産品をどんどん増やしていくという町民主体の政策を打っていったほうが、中部横断道からのお客さまがこの町に来ていただいて、また来ていただいたお客さまと、町民の方との接点が生まれて、そしていろいろな面で好循環につながって、この町が潤っていくのではないかなど、自分は非常に期待しているところであります。

3年遅れでしたが夢が叶いました。コロナ克服後は、交通量、もっともっと増えると確信しています。皆さまの考え、アイデアを一つひとつ実現していければ、必ず町の活性化、発展につながっていくものと思っています。

以上、私の質問は以上です。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、望月小五郎議員の一般質問を終了いたします。

これで一般質問を終結いたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

なお、明日8日、水曜日には文教厚生常任委員会、あさって9日、木曜日には総務建設常任委員会の審査が行われます。

会場は議会大会議室、開会は午前9時であります。

時間までに、2階大会議室にご参集くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、これにて散会いたします。

大変ご苦労さまでした。

議員の皆さまは、控え室にお集まりください。

散会 午後 2時38分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

令和3年9月7日

南部町議会議長

遠藤光宣

会議録署名議員

望月小五郎

会議録署名議員

塩津悟

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議会事務局長

遠藤一明

令和 3 年

南部町議会第 3 回定例会会議録

9 月 1 7 日

令和3年第3回南部町議会定例会（第2日目）

令和3年9月17日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 請願第1号 林業振興促進のための財政支援拡充を求める請願書
- 日程第3 請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
- 日程第4 請願第3号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願書
- 日程第5 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 日程第6 議案第49号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第7 議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第8 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第9 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定について
- 日程第10 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）
- 日程第11 議案第54号 令和3年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第12 議案第55号 令和3年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算（第2号）
- 日程第13 議案第56号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第14 議案第57号 令和3年度南部町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第15 議案第58号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第16 議案第59号 令和3年度南部町睦合財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第17 議案第60号 令和3年度南部町富沢財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第18 議案第61号 令和3年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第19 議案第62号 工事請負契約の締結について
- 日程第20 議案第63号 工事請負契約の締結について
- 日程第21 議案第64号 工事請負契約の締結について
- 日程第22 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第23 認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第24 認定第3号 令和2年度南部町指定居宅サービス特別会計歳入歳出決算認定について

- 日程第25 認定第 4号 令和2年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第26 認定第 5号 令和2年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第27 認定第 6号 令和2年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第28 認定第 7号 令和2年度南部町睦合財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第29 認定第 8号 令和2年度南部町富沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第30 認定第 9号 令和2年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第31 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第32 議案第65号 南部町インフォメーションセンターの「道の駅・とみざわ」の指定管理者の指定について
- 日程第33 発議第 2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について
- 日程第34 議員派遣の件について
- 日程第35 閉会中の継続調査について
- 追加日程第1 発委第 1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について
- 追加日程第2 発委第 2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出について

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	芦澤潤一郎	2番	望月憲之
3番	望月小五郎	4番	塩津悟
5番	望月郁夫	6番	木内秀樹
7番	遠藤高芳	8番	望月光彦
9番	小泉昇一	10番	仲亀佳定
11番	高橋茂広	12番	遠藤光宣

3. 欠席議員(0名)

4. 会議録署名議員

5番 望月郁夫

6番 木内秀樹

5. 地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名（25名）

町長	佐野和広	教育長	入月一巳
代表監査委員	若林泰文	秘書政策監	小倉弘規
会計管理者 (兼) 出納室長	佐野彰紀	総務課長	滝基成
財政課長	市川隆	企画課長	杉山一陽
税務課長	渡辺幸博	交通防災課長	金井貴
子育て支援課長	岡村忠	福祉保健課長 (兼) 地域包括支援センター所長	佐野武人
住民課長	四條理恵	産業振興課長 (併) 農業委員会事務局長	若林安彦
建設課長	望月一臣	水道環境課長	遠藤成
デイサービスセンター所長	仲亀哲也	アルファセンター所長	青木正和
健康管理センター所長	渡辺基	学校教育課長 (兼) 学校給食共同調理場所長	渡辺雄治
生涯学習課長 (兼) 公民館長	近藤利也	アルカディア課長	尾崎龍次
福祉保健課課長補佐	望月文広	福祉保健課課長補佐	遠藤賢
税務課課長補佐	望月咲子		

6. 職務のために議場に出席した者の職氏名（1名）

議会事務局長 遠藤一明

○議長（遠藤光宣君）

皆さん、おはようございます。

令和3年第3回定例会2日目にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位には、2日間にわたる委員会での慎重な審査、大変ご苦労さまでした。

また、現地視察におきましては、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、やむなく中止といたしました。次期定例会までには新型コロナウイルス感染症が終息することを強く願います。

それでは、本日が最終日になろうかと思いますが、議員各位には円滑なる議会運営に格段のご協力をお願い申し上げまして、定例会2日目のあいさつといたします。

ただいまの出席議員は12名で、定足数に達しておりますので、令和3年南部町議会第3回定例会2日目の会議は成立いたしました。

それでは、ただちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

○議長（遠藤光宣君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、5番 望月郁夫議員および6番 木内秀樹議員の両名を指名いたします。

○議長（遠藤光宣君）

常任委員会に付託いたしました日程第2 請願第1号、日程第3 請願第2号、および日程第4 請願第3号についての委員長からの審査報告、報告に対する質疑・討論・採決を行います。

最初に、日程第2 請願第1号 林業振興促進のための財政支援拡充を求める請願について、総務建設常任委員会、小泉昇一委員長、報告をお願いいたします。

小泉昇一委員長。

○総務建設常任委員長（小泉昇一君）

請願の審査結果について報告いたします。

今期定例会において、議長より総務建設常任委員会に付託されました、請願第1号 林業振興促進のための財政支援拡充を求める請願書について、9月9日、午後2時42分より、南部町役場本庁舎2階会議室において、慎重に審査いたしました結果、積極的に森林の整備を行い、南部の木をブランド化し、木材の付加価値をより高めていくことは極めて重要なことであり、請願の趣旨に沿うことが妥当であると全会一致で採択すべきものと決定いたしました。

なお、この結果につきましては、会議規則第94条第1項の規定に基づき、別紙のとおり議長に委員会報告書を提出してあります。

以上で、報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、日程第2 請願第1号に関する委員長報告を終了いたします。

小泉委員長はその場でお待ち願います。

それでは、日程第2 請願第1号に関する質疑を行います。

質疑はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

8番、望月。

この請願書は、貴重な町税を補助するのですから、それなりの決め手となる理由があったんだと思います。

私も当初、組合長から説明を受け、南部町の木材としてブランド化を目指すために、テント倉庫を設置する請願だとお聞きしております。

すでに南部町の特産品でありますお茶においても、補助金は、生産者が赤字になった場合に上限で120万円の補助をしていると聞きました。

今回の森林組合の請願は、全額を要望したいというような話も、私は耳にしております。森林組合の経営状態も非常に黒字経営であり、株主さんにも毎年高い配当を出しており、このような優良企業への補助金には、違和感を感じるどころであります。

しかしながら、総務建設常任委員に付託した形で今回、採択されたのですから、反対はいたしませんけれども、補助するのであれば、この建物が活用されることでどのくらいの利益を生んだのか、また、利益が生まれたら町に返金してもらうなどの条件を設けることで、私としても賛同をしたいと思っております。

最後に、9月9日の総務建設常任委員会に、私事で同席することができませんでしたので、採択に至った経緯について、説明をお願いいたします。

○議長（遠藤光宣君）

小泉総務建設常任委員長。

○総務建設常任委員長（小泉昇一君）

ただいまの質疑に対して答弁いたします。

過日の常任委員会の審査の中で、採択するために皆さんの意見を聞きました。多くの方々の意見として、南部町をPRし、さらには目玉商品である南部町の森林とこの森林環境をいかにして守っていくかということを実際に考えたときに、このウッドショックを最大限利用する、今がチャンスだということで、採択に至りました。

また、望月議員が述べましたように、請願を採択して利益があったら南部町に見返りをという話ですが、われわれは採択だけであって、やはりその後の決定は町長、行政側の問題ですので、ここで私がそれを答弁することは差し控えたいと思っております。

しかしながら、団体で経営している森林組合、農協、信用金庫等も含めてであります。1つのものを経営していく中で、余剰金というものは必要であると思っております。いかに商品開発をして、商品を管理していくか、そしてその中で大きな労災事故等が発生したときに、何らかの形で、法の中では保証できない部分を補っていく、そのことも考えた余剰金だと、私は思っております。

以上で、委員長としての答弁を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

ほかに質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第2 請願第1号に関する質疑を終結いたします。

小泉委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

次に、日程第3 請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願について、文教厚生常任委員会、望月光彦委員長、報告をお願いいたします。

望月委員長。

○文教厚生常任委員長（望月光彦君）

それでは、請願書の審査結果について報告いたします。

今期定例会において、議長より文教厚生常任委員会に付託されました、請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願について、9月8日、午後2時38分より、南部町役場本庁舎2階会議室において、慎重に審査いたしました結果、課題が複雑化、困難化する学校現場において、子どもたちが一定水準の教育を受けられるための教育環境の実現は極めて重要なことであり、請願の趣旨に沿うことが妥当であると全会一致で採択すべきものと決定いたしました。

なお、この結果につきましては、会議規則第94条第1項の規定に基づき、別紙のとおり議長に委員会報告書を提出してあります。

以上、報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、日程第3 請願第2号に関する委員長報告を終了いたします。

望月委員長はその場でお待ち願います。

それでは、日程第3 請願第2号に関する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(な し)

質疑なしと認めます。

以上で、日程第3 請願第2号に関する質疑を終結いたします。

次に、日程第4 請願第3号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願について、文教厚生常任委員会、望月光彦委員長、報告をお願いします。

○文教厚生常任委員長（望月光彦君）

続きまして、請願第3号の審査結果について、報告させていただきます。

今期定例会において、議長より文教厚生常任委員会に付託されました、請願第3号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願について、9月8日、午後2時51分より、南部町役場本庁舎2階会議室において、慎重に審査いたしました結果、子どもたちの歯科矯正治療における保険適用の拡充と保険適用基準の見直しについては、次世代を担う子どもたちの心身の健康や生活習慣の改善、子育て支援の観点から、極めて重要なことであり、請願の趣旨に沿うことが妥当であると、全会一致で採択すべきものと決定いたしました。

なお、この結果につきましては、会議規則第94条第1項の規定に基づき、別紙のとおり議

長に委員会報告書を提出してあります。

以上で、報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

以上で、日程第4 請願第3号に関する委員長報告を終了いたします。

望月委員長はその場でお待ち願います。

それでは、日程第4 請願第3号に関する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、日程第4 請願第3号に関する質疑を終結いたします。

望月委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

次に、討論を行います。

日程第2 請願第1号、日程第3 請願第2号および日程第4 請願第3号に関して、一括で討論いたします。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で、討論を終結いたします。

次に、採決を行います。

採決は、1請願ごとに順次行います。

最初に、日程第2 請願第1号 林業振興促進のための財政支援拡充を求める請願については、委員長報告のとおり、採択すべきものとするに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、日程第2 請願第1号については、採択することに決定をいたしました。

次に、日程第3 請願第2号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願については、委員長報告のとおり、採択すべきものとするに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、日程第3 請願第2号については、採択することに決定をいたしました。

次に、日程第4 請願第3号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願については、委員長報告のとおり、採択すべきものとするに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、日程第4 請願第3号については、採択することに決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

次に、常任委員会に付託いたしました日程第5 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定から、日程第

31 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定までの27件を一括議題とし、審査報告ならびに審査報告に対する質疑を行います。

最初に、総務建設常任委員会の審査報告ならびに審査報告に対する質疑を行います。

総務建設常任委員会の委員長報告を求めます。

総務建設常任委員会、小泉昇一委員長、登壇願います。

○総務建設常任委員長（小泉昇一君）

総務建設常任委員会、委員会審査報告を行います。

本委員会は、令和3年9月9日、木曜日に開会し、午前9時から午後2時36分まで、南部町役場本庁舎2階大会議室で審査いたしました。

出席者は、委員長の私、小泉昇一、遠藤高芳副委員長、高橋茂広委員、望月郁夫委員、望月小五郎委員、望月憲之委員、遠藤光宣議長の7名でした。

執行部からは、産業振興課・農業委員会、総務課、交通防災課、財政課、税務課、企画課、建設課、議会事務局の各課長、局長および担当職員が出席いたしました。

お手元に配布のとおり、総務建設常任委員会に付託された議案第48号から、認定第10号までの15件の議案について、所管課より説明を受け、慎重に審査を行いました結果、いずれも原案どおり、可決および認定すべきものと決しました。

なお、審査の過程において次の質疑があり、所管課からそれぞれ丁寧な答弁がありました。質疑の内容については、別冊の総務建設常任委員会審査報告書より、抜粋して報告いたします。報告書をご用意ください。

はじめに、産業振興課・農業委員会です。

まず3ページ、議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）について、歳出、

問 20ページ、21ページ、6款商工費、1項商工費、10目ふるさと支援商品券事業費について、前は大型店舗に使用が集中していたが、今回はどのように扱うのか。また今後のスケジュールは。

答 配布時に同封する通知、チラシ、FM告知等で、個人・小規模店舗での使用を促すための周知をする予定です。使用方法については前回から変更ありません。

今後のスケジュールについては、議会で議決を得たのち、10月中旬までに発送します。

使用期間は、10月1日から翌年1月31日までを予定しています。

次に、総務課・分庁舎・万沢支所です。

7ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定についてです。歳入、

問 15ページ、15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、1節総務費補助金、社会保障・税番号システム整備費補助金について説明を。

答 総務課の所管は495万8千円になります。内容については、都道府県と市区町村が共同運営しマイナンバーカードの発行、マイナンバー関連システムの運営を構築している地方公共団体情報システム機構への負担金およびシステム改修費に対する補助金です。負担金は、次期システム設計構築移行に関わる経費で220万8千円です。システム改修費は、行政手続きなどの利便性の向上を図るため、令和元年5月にデジタル手続き法が公布されたことに伴い、住民基本台帳法・マイナンバー法の一部が改正され、国外転出者によるマイナンバーカードの利用を実現するためのシステム改修費275万円となります。いずれ

も10分の10の事業費で、275万円の収入については、企画課へ123万2千円、住民課へ151万8千円の財源充当をしています。

続いて、交通防災課です。

9ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、歳入、

問 13ページ、14款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料、2節町営バス使用料について、年々利用乗車金額が減っており、乗車している人も減っている中で、大きなバスを運行していく必要があるのか考えを聞きたい。

答 ご指摘のとおり、大きなバスの運行については町民からも話があります。時間帯によっては、現在のバスでないと乗車できないという路線もありますので、中型バスを運行している現状です。

引き続き、財政課です。

11ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、歳入、

問 20ページ、17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入、1節土地建物貸付収入について説明を。

答 町の普通財産を貸付けている収入で、農協や中野のローソン、ウエルシアなどが主なものとなります。内訳は、南部地区が24カ所で760万244円、富沢地区が22カ所で764万5,583円です。

続いて、企画課です。

14ページ、議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）、歳入、

問 11ページ、15款国庫支出金、2項総務費国庫補助金、1目総務費国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、事業を実施するのに、町の予算を出さないと実施できないのか。

答 今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の569万4千円ですが、南部町には、令和2、3年度において4億4,703万3千円の交付金が限度額として交付されており、令和3年度につきましては、1億2,099万円が交付金としてそれぞれの事業に振り分けられます。そのうち569万4千円を今回の事業に充当させていただきます。これをもちまして、全額充当となります。今回のふるさと支援商品券につきましては、335万3千円を充当しており、それ以外は財政調整基金を当てていますが、今後追加の交付があれば、随時対応していきたいと思えます。

次に、税務課です。

16ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、歳入、

問 9ページ、1款町税について、収入未済額があるが、納められなくなった町民の相談などはどのようにしているか。

答 納税相談に関しては、本人から生活費の内訳を聞き取るなど、生活全般を考慮しながら相談に応じています。また、ほかの課の未払金もあるケースなどは、関係機関と連携を取るようしており、利用可能な福祉サービスなどの助言も行うことで、生活状況の改善と併せて、未納額を減らしていけるようよう相談対応しています。

続いて、建設課です。

17ページ、議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）、歳入、

問 アルカディア総合公園の完成予定は。

答 今回の完了予定工期が令和4年3月25日となっていますが、芝生の養生など考えますと、梅雨時の雨を利用するなど6月くらいまで延期をし、芝生を根付かせてから使用開始していきたいと考えています。広報なんぶ9月号には夏ごろと記載させていただいております。

以上で、総務建設常任委員会、委員会審査報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

委員長の報告が終わりました。

小泉委員長は、その場でお待ち願います。

委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、総務建設常任委員会の委員長報告に対する質疑を終結いたします。

小泉委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

次に、文教厚生常任委員会の審査報告ならびに審査報告に対する質疑を行います。

文教厚生常任委員会の委員長報告を求めます。

文教厚生常任委員会、望月光彦委員長、登壇願います。

○文教厚生常任副委員長（望月光彦君）

それでは、文教厚生常任委員会、委員会審査報告を行います。

本委員会は、令和3年9月8日、水曜日に開会し、午前9時から午後2時32分まで、南部町役場本庁舎2階大会議室で審査いたしました。

出席者は、委員長、私、望月光彦、仲亀佳定副委員長、木内秀樹委員、塩津悟委員、芦澤潤一郎委員、遠藤光宣議長。

執行部からは、教育長、総務課長、住民課・医療センター・税務課、福祉保健課・デイサービスセンター・アルファーセンター、子育て支援課、水道環境課・環境センター、教育委員会の各課長、所長および担当職員が出席いたしました。

お手元に配布のとおり、文教厚生常任委員会に付託された議案第50号から認定第6号までの14件の議案について、所管課より説明を受け、慎重に審査を行いました結果、いずれも原案どおり、可決および認定すべきものと決しました。

なお、審査の過程において次の質疑があり、所管課からそれぞれ答弁がありました。

質疑の内容について、別冊の文教厚生常任委員会審査報告書より抜粋して報告いたします。

報告書をご用意ください。

はじめに、住民課・医療センターです。

3ページ、議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、

問 キオスク端末を利用できるコンビニエンスストアはどこか。また、取得できる証明は、

答 山梨県市町村総合事務組合の契約の関係上、ローソン、セブンイレブン、ファミリーマートに限られます。端末はどこの店舗にもありますので、全国でご利用になれます。取得できる証明は、住民票の謄本・抄本、印鑑証明書です。

次に、福祉保健課・デイサービスセンター・アルファーセンターです。

9ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、歳入、

問 18ページ、16款県支出金、2項県補助金、3目衛生費県補助金、1節保健衛生費補助金のうち、帰省学生等に対するPCR検査等費について、今年度も実施するのか。

答 帰省学生等に対するPCR検査については、令和2年12月17日から令和3年1月17日までの間に帰省する場合に限り補助することになっております。実績は11件で10万3千円でした。今後については、県補助の有無等、県の動向を見ながら事業を進めていきます。

次に、子育て支援課です。

12ページ、議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）、歳出、

問 18ページ、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、12節の遊具点検委託料および、3目保育所総務費、12節の植木手入れ委託料について説明を。

答 遊具点検委託料は、旧万沢小学校にある13種類の遊具の点検になります。植木手入れ委託料は、富河保育所の桜とイチョウの剪定および、栄保育所の桜の木を数年前に伐採した後の株が遊具の近くに残っていて園児たちに危険があるため、撤去するものです。

次に、水道環境課・環境センターです。

15ページ、認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、歳入、

問 5ページ、2款使用料及び手数料、1項使用料、1目簡易水道使用料、収入未済額についての今後の対応は。

答 令和元年度までの未済額となります。過年度分の未済額ですが、中には分納の約束をして納めていただいている方もおり、年々未納額は少なくなっています。また、以前から不納欠損をしておりますので、死亡や行方不明など徴収不能な方が累積しております。今後は、死亡や転出先の調査をしながら不納欠損を実施し、金額の減額に努めていきます。

次に、教育委員会です。

17ページ、認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、歳出、

問 コロナ禍における学校での対応は。

答 コロナ対策につきましては、学校現場では、さまざまな対応をしております。今年の夏休み期間から、家庭内感染による子どもへの感染が広がっておりますので、今までも実施しておりましたチェックシートに家庭内の家族状況を加えました。授業内容でも、合唱や料理実習などは実施せずに対応しています。また、中学校の学園祭「輝城祭」は延期し、生徒だけの学園祭として実施します。小学校の運動会についても、延期をして、状況を確認しながらの実施を検討していきます。

以上で、文教厚生常任委員会、委員会審査報告を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

委員長報告が終わりました。

望月委員長は、その場でお待ち願います。

委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、文教厚生常任委員会の委員長報告に対する質疑を終結いたします。

望月委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

以上で、各常任委員会委員長の審査報告ならびに審査報告に対する質疑を終結いたします。

○議長（遠藤光宣君）

次に、日程第5 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定から、日程第8 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定までの条例の制定・改正の4件、ならびに日程第9 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定1件について、一括で討論いたします。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で、日程第5 議案第48号から日程第9 議案第52号までの討論を終結いたします。

次に、日程第10 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算（第3号）から日程第21 議案第64号 工事請負契約の締結までの、令和3年度補正予算9件ならびに工事請負契約の締結3件について、一括で討論いたします。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で、日程第10 議案第53号から日程第21 議案第64号までの討論を終結いたします。

次に、日程第22 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定から、日程第31 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定までの令和2年度歳入歳出決算認定10件についてを一括で討論いたします。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で、日程第22 認定第1号から日程第31 認定第10号までの討論を終結いたします。

○議長（遠藤光宣君）

次に、採決を行います。

採決は、1議案ごとに順次行います。

最初に、日程第5 議案第48号 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第5 議案第48号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第6 議案第49号 南部町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第6 議案第49号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第7 議案第50号 南部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第7 議案第50号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第8 議案第51号 南部町アルカディア南部総合公園条例の一部を改正する条例の制定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第8 議案第51号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第9 議案第52号 南部町過疎地域持続的発展計画の制定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第9 議案第52号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第10 議案第53号 令和3年度南部町一般会計補正予算(第3号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第10 議案第53号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第11 議案第54号 令和3年度南部町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第11 議案第54号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第12 議案第55号 令和3年度南部町指定居宅サービス特別会計補正予算(第2号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第12 議案第55号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第13 議案第56号 令和3年度南部町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第13 議案第56号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第14 議案第57号 令和3年度南部町介護保険特別会計補正予算(第2号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第14 議案第57号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第15 議案第58号 令和3年度南部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第15 議案第58号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第16 議案第59号 令和3年度南部町睦合財産区特別会計補正予算(第1号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第16 議案第59号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第17 議案第60号 令和3年度南部町富沢財産区特別会計補正予算(第1号)について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第17 議案第60号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第18 議案第61号 令和3年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会

計補正予算（第1号）について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第18 議案第61号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第19 議案第62号 工事請負契約の締結について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第19 議案第62号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第20 議案第63号 工事請負契約の締結について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第20 議案第63号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第21 議案第64号 工事請負契約の締結について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第21 議案第64号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第22 認定第1号 令和2年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第22 認定第1号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第23 認定第2号 令和2年度南部町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第23 認定第2号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第24 認定第3号 令和2年度南部町指定居宅サービス特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第24 認定第3号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第25 認定第4号 令和2年度南部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第25 認定第4号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第26 認定第5号 令和2年度南部町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第26 認定第5号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第27 認定第6号 令和2年度南部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第27 認定第6号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第28 認定第7号 令和2年度南部町睦合財産区特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第28 認定第7号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第29 認定第8号 令和2年度南部町富沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、日程第29 認定第8号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第30 認定第9号 令和2年度南部町大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第30 認定第9号については、原案のとおり認定されました。

次に、日程第31 認定第10号 令和2年度南部町大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算認定について、採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

本案は、委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第31 認定第10号については、原案のとおり認定されました。

○議長 (遠藤光宣君)

日程第32 議案第65号 南部町インフォメーションセンター「道の駅・とみざわ」の指定管理者の指定についてを議題といたします。

提出議案の説明・質疑・討論・採決を行います。

町長から提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長 (佐野和広君)

それでは、議案第65号について、提案理由の説明をさせていただきます。

全員協議会でも説明させていただきました、インフォメーションセンター「道の駅・とみざわ」の指定管理者の指定についてであります。

道の駅とみざわは、平成21年4月から南部町商工会が指定管理者として運営しており、平成31年4月からは3期目に入っておりますが、今般、経営不振を理由に、指定管理者を辞退したい旨の申し出がありました。

この指定管理者の指定は、議会の議決を経て、商工会と町が互いの審議に基づいて契約を交わす、大変責任の重いものであります。

私といたしましても、一定期間の猶予を与えて経営改善の努力を促しておりましたが、そのかいもなく、改善は望めないと判断いたしましたので、今月限りをもって指定を取り消すことといたしました。

しかしながら長期間、道の駅とみざわを閉鎖することは望ましくないことから、次の指定管理者の候補について、選定作業を進め、新たな指定管理者候補が決定し、協議が整ったことから、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を経る必要があるため、追加上程するものであります。

指定管理者となる団体は、株式会社みいと市場、静岡県富士宮市長貫1385番地の11、指定する期間は令和3年10月1日から令和6年3月31日までの2年6カ月であります。

提案理由の説明は以上であります。詳細につきましては、担当課長から説明させていただきます。

ご審議いただき、ご議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠藤光宣君）

町長の提案理由の説明が終わりました。

次に、担当課長の補足説明を求めます。

市川財政課長。

○財政課長（市川隆君）

（補足の説明・省略）

○議長（遠藤光宣君）

以上で、担当課長の補足説明を終わります。

次に、本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

8番、望月光彦議員。

○8番議員（望月光彦君）

8番、望月。

実際に商工会が経営困難ということで、試行的に1月から7月まで試行したんですよね。実際にその間に未着手の事業をやってもらおうという腹もあったんだろうと思いますけど、その1月から7月までの間に、まったくそういう姿勢が見られなかったと私は思っています。それに対して、町として猶予を与えたわけですけど、それでもやらなかったという理由は、何か向こうでそれなりの答弁があったんでしょうか。町がそれだけの温情を与えて、もう一度何とか立て直しをしてくれということ、様子を見たんだろうと私は思いますが、それに対して全くの誠意がこちらには伝わってこない。それに対して商工会は何ということと言って、今回の辞退について、どういふ話をしてきたのかなというのが、興味のあるところなので、申し訳ないんですけど、そのへんについて教えていただきたいと思います。

○議長（遠藤光宣君）

市川財政課長。

○財政課長（市川隆君）

望月議員のご質問にお答えいたします。

こちらで実行を求めたことにつきましては、まず、地域密着型の事業ということを提案されていまして。買い物弱者の支援といったことがそれにあたるかと思えます。

また町内の事業所、商工会の利点を生かして、連携した事業展開というようなことも提案にあったわけですが、それらについて取り組まれた形が見えないので、ぜひ頑張る姿をわれわれ町民に見せてくださいというお願いをさせていただきました。

結果として、われわれが受け止めた、なぜできなかったかということにつきましては、いわゆる企業統治ができていなかったと言いましょうか、企画側と現場の意思の疎通が欠けていたのかなというような受け止めをしております。

これは根が深いということで、改善が望めないという判断に至ったわけでございます。

よろしいでしょうか。

○議長（遠藤光宣君）

ほかに質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、日程第32 議案第65号についての質疑を終結いたします。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

(な し)

討論なしと認めます。

以上で、討論を終結いたします。

これにより採決を行います。

日程第32 議案第65号 南部町インフォメーションセンター「道の駅・とみざわ」の指定管理者の指定については、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、日程第32 議案第65号はについては、原案のとおり決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

日程第33 発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出についてを議題とし、趣旨説明・採決を行います。

提出者から趣旨説明を求めます。

11番、高橋茂広議員。

○11番議員（高橋茂広君）

発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について、趣旨説明をいたします。

朗読をもって趣旨説明に代えさせていただきます。

議員提出議案の1ページをご覧ください。

発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり、南部町議会会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和3年9月17日提出

南部町議会議長 遠藤光宣殿

提出者 南部町議会議員 高橋茂広
賛成者 南部町議会議員 仲亀佳定
賛成者 南部町議会議員 小泉昇一
賛成者 南部町議会議員 望月光彦
賛成者 南部町議会議員 遠藤高芳
賛成者 南部町議会議員 木内秀樹
賛成者 南部町議会議員 望月郁夫
賛成者 南部町議会議員 塩津 悟
賛成者 南部町議会議員 望月小五郎
賛成者 南部町議会議員 望月憲之
賛成者 南部町議会議員 芦澤潤一郎

であります。

提出理由であります。新型コロナウイルスの感染拡大は、わが国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られ、地方税財源の充実が不可欠であることから、令和4年度地方財政対策および地方税制改正を政府に強く求めるため、本意見書を提出するものであります。

なお、意見書は、お手元に配布してありますので、朗読は省略させていただきます。

意見書の提出先は、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長であります。

議員各位には、よろしくご賛同を賜りますようお願い申し上げます。以上で、発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出についての趣旨説明を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

趣旨説明が終わりました。

高橋茂広議員は、その場でお待ち願います。

日程第33 発議第2号については、提出者以下、全員が賛成でありますので、質疑・討論を省略し、直ちに採決を行います。

これに、ご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、日程第33 発議第2号については、質疑・討論を省略し直ちに採決することに決定いたしました。

高橋茂広議員ご苦労さまでした。席にお戻りください。

これより、採決を行います。

日程第33 発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出については、原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、日程第33 発議第2号は原案のとおり決定いたしました。

なお、本意見書は、地方自治法第99条の規定により、議長において各関係機関に提出いたします。

ここで、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時44分

再開 午前10時45分

○議長（遠藤光宣君）

それでは、会議を再開いたします。

ただいま、文教厚生常任委員会から、請願第2号および請願第3号にかかる意見書の提出についての議案が提出されました。

お諮りいたします。

発委第1号を追加日程第1、発委第2号を追加日程第2として、日程の順序を変更し、直ちに議題といたしたいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、発委第1号、発委第2号を日程に追加し、追加日程第1、追加日程第2として、直ちに議題とすることに決定いたしました。

ここで、追加日程準備のため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時46分

再開 午前10時47分

○議長（遠藤光宣君）

それでは、会議を再開いたします。

○議長（遠藤光宣君）

追加日程第1 発委第1号および追加日程第2 発委第2号の意見書の提出についてを議題といたします。

文教厚生常任委員会提出議案は、お手元へ配布いたしましたとおりでありますので、議案の朗読は省略させていただきます。

提出議案の趣旨説明・質疑・討論・採決を行います。

追加日程第1 発委第1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出についてを議題とし、提出委員会より趣旨説明を求めます。

文教厚生常任委員会、望月光彦委員長。

○文教厚生常任委員長（望月光彦君）

それでは、発委第1号について、説明をさせていただきます。

加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について、趣旨説明をいたします。

朗読をもって趣旨説明に代えさせていただきます。

委員会提出議案1ページをご覧ください。

発委第1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について、上記の議案を別紙のとおり、南部町議会会議規則第14条第2項の規定により提出する。

令和3年9月17日提出

南部町議会議長 遠藤光宣殿

提出委員会は南部町議会文教厚生常任委員会であります。

提出理由であります、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現し、全国のどこに住んでいても一定水準の教育を受けられるようにするため、加配定数の振り替えによらな

い小学校35人学級の実施と中学校での35人学級の実施、計画的な教職員定数改善の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持、および教育条件の格差解消のための教育予算の拡充を政府に強く求めるため、本意見書を提出するものであります。

なお、意見書はお手元に配布してありますので、朗読は省略させていただきます。

意見書の提出先は、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長であります。

議員各位には、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げまして、以上で、発委第1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について、趣旨説明を終わります。

○議長（遠藤光宣君）

追加日程第1 発委第1号の趣旨説明が終わりました。

望月委員長は、その場でお待ち願います。

次に、本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、追加日程第1 発委第1号に関する質疑を終結いたします。

次に、追加日程第2 発委第2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出についてを議題とし、提出委員会より趣旨説明を求めます。

文教厚生常任委員会、望月光彦委員長。

○文教厚生常任委員長（望月光彦君）

続きまして、発委第2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出について、趣旨説明をいたします。

朗読をもって趣旨説明に代えさせていただきます。

委員会提出議案4ページをご覧ください。

発委第2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出について、上記の議案を別紙のとおり、南部町議会会議規則第14条第2項の規定により提出する。

令和3年9月17日提出

南部町議会議長 遠藤光宣殿

提出委員会は、南部町議会文教厚生常任委員会であります。

提出理由であります。子どもの歯や口腔の健康な状態を保持すること、発育期において適切な歯科矯正治療を受けられることは、顔の骨格や身体の健康を良好な状態にするだけでなく、精神的安定や生活習慣の改善にも効果があるため、国において、保険適用の拡充および必要な周知を行い、保険適用に至らないケースにおいても、さらなる適用基準の拡充を検討する必要があることから、本意見書を提出するものであります。

なお、意見書はお手元に配布してありますので、朗読は省略させていただきます。

意見書の提出先は、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長であります。

議員各位には、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げまして、以上で、子どもの歯科

矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出について、趣旨説明を終わらせていただきます。

○議長（遠藤光宣君）

追加日程第2 発委第2号の趣旨説明が終わりました。

望月委員長は、その場でお待ち願います。

次に、本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、追加日程第2 発委第2号に関する質疑を終結いたします。

望月委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

次に、討論を行います。

追加日程第1 発委第1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出、および、追加日程第2 発委第2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出についてを、一括で討論いたします。

討論はありませんか。

（ な し ）

討論なしと認めます。

以上で、討論を終結いたします。

これより、採決を行います。

採決は1議案ごとに順次行います。

最初に、追加日程第1 発委第1号 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出については、原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、追加日程第1 発委第1号は、原案のとおり決定いたしました。

なお、本意見書は、地方自治法第99条の規定により、議長において各関係機関へ提出いたします。

次に、追加日程第2 発委第2号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書の提出については、原案のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、追加日程第2 発委第2号は、原案のとおり決定いたしました。

なお、本意見書は、地方自治法第99条の規定により、議長において各関係機関へ提出いたします。

○議長（遠藤光宣君）

日程第34 議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。

現在予定されている議員派遣案件はございませんが、臨時案件が発生した場合、議長の判断において、議員を派遣することにご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、臨時案件発生の場合は、議長の判断において、議員を派遣することに決定いたしました。

○議長（遠藤光宣君）

日程第35 閉会中の継続調査についてであります。議会運営委員会委員長、総務建設常任委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長、議会改革特別委員会委員長から閉会中の各委員会の開催について申し出がありました。

会議規則第75条の規定に基づき、令和3年第4回定例会の会期の決定、所管事務研究および調査について、お手元に申出書の写しが配布されております。

お諮りいたします。

各委員長からの申出書のとおり、各委員会の所管事務等について、議会閉会中に委員会を開催することに、ご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、各委員長からの申出のとおり、委員会の所管事務等について、議会閉会中の委員会開催については決定されました。

以上で、本定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

お諮りいたします。

会議規則第7条の規定により、本日をもって今期定例会を閉会といたしたいと思っております。

これに、ご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会は、本日で閉会とすることに決定いたしました。

令和3年南部町議会第3回定例会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでした。

議員の皆さまは控室にご参集ください。

閉会 午前11時00分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

令和3年9月17日

南部町議会議長

遠藤 光 宣

会議録署名議員

望 月 郁 夫

会議録署名議員

木 内 秀 樹

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長

遠 藤 一 明